



ソフトウェア ガイド

HP Compaqノートブック シリーズ

製品番号 : 333634-291

2003年8月

このガイドでは、ノートブック コンピュータの電源およびセキュリティを管理する際の設定と手順について説明します。また、トラブルを検出、解決、および防止するためにシステムの情報を入手する方法と診断用ユーティリティを使用する方法についても説明します。

© 2003 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

IntelおよびSpeedStepは、米国Intel Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

SDロゴは商標です。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外では使用できない場合があります。

本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

以下の記号は、本文中で安全上重要な注意事項を示します。



警告：その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。



注意：その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

ソフトウェア ガイド
HP Compaqノートブック シリーズ
初版 2003年8月
参照番号 : nc6000
製品番号 : 333634-291

日本ヒューレット・パッカード株式会社

目次

1 セットアップ

ソフトウェアのセットアップ	1-1
別売ソフトウェアのインストール	1-2
地域設定の選択	1-3
画面設定の選択	1-4
無線LANおよびBluetoothの設定	1-4
ノートブック コンピュータの保護	1-5
ノートブック コンピュータの電源切断	1-5
サージ電圧からのノートブック コンピュータの保護	1-5
ウィルスからのノートブック コンピュータの保護	1-6

2 電源

電源の選択	2-1
スタンバイおよびハイバネーションの概要	2-2
スタンバイ	2-2
ハイバネーション	2-2
スタンバイ、ハイバネーション、または電源切断の実行	2-4
作業を中断する場合	2-4
電力の供給が不安定な場合	2-4
赤外線通信またはドライブ メディアの使用中	2-5
デフォルトの電源設定の使用	2-5
ノートブック コンピュータまたはディスプレイの オン/オフ	2-6
ハイバネーションからの復帰または起動	2-7
スタンバイからの復帰または起動	2-8
緊急停止手順の使用	2-9

電源オプションの管理	2-9
[電源オプション] ウィンドウへのアクセス	2-10
[バッテリ メーター] アイコンの表示	2-10
電源設定の指定または変更	2-11
セキュリティ パスワードの使用	2-12
プロセッサ パフォーマンスの制御	2-12
Windows XPのプロセッサの制御	2-17
3 セキュリティ	
セキュリティ機能のクリック リファレンス	3-1
[Computer Setup]でのセキュリティ設定	3-3
パスワードの使用	3-3
HPパスワードとWindowsのパスワードの概要	3-4
HPパスワードとWindowsのパスワードに関するガイドライン	3-5
電源投入時パスワード (Power-On Password) の概要	3-6
電源投入時パスワードの設定	3-6
電源投入時パスワードの入力	3-7
HP管理者パスワードの概要	3-8
HP管理者パスワードの設定	3-8
HP管理者パスワードの入力	3-9
DriveLock (ドライブロック) の概要	3-10
DriveLockパスワードの設定	3-11
DriveLockパスワードの入力	3-12
DriveLockパスワードの変更	3-13
DriveLockによるハードドライブのプロテクトの解除	3-14
装置の使用禁止	3-15
HP ProtectTools内蔵セキュリティ マネージャの使用	3-16
システム情報の使用	3-16
[システム情報] オプションの設定	3-17
スマート カード リーダーの使用	3-17
スマート カード リーダーの保護	3-18

4 オプティカル ドライブ ソフトウェア

CDとDVDの使用	4-1
再生中のメディアの保護	4-1
著作権に関する警告について	4-2
Windows Media PlayerでのオーディオおよびビデオCDの再生	4-3
CDの再生	4-3
Windows Media Playerのヘルプへのアクセス	4-4
Intervideo WinDVDによるビデオCDとDVDの再生	4-4
WinDVDのインストール	4-4
ビデオCDとDVDの再生	4-6
DVDの地域設定の変更	4-7
Roxio Easy CD & DVD Creator 6でのCDの作成	4-8
Easy CD & DVD Creator 6の機能の概要	4-9
Easy CD & DVD Creator 6を使用する前に	4-10
記録メディアのフォーマット	4-11
CDの作成	4-12
Roxio Easy CD & DVD Creator 6での記録メディアの消去	4-13
Easy CD & DVD Creator 6の設定値の選択	4-14
InterVideo WinDVD Creatorを使用したDVDの作成	4-15
InterVideo WinDVD Creatorを使用する前に	4-16
DVDの作成	4-17

5 インテリジェント マネジメント機能

出荷時設定の変更	5-2
ソフトウェアの管理とアップデート	5-3
HP Client Manager Software	5-3
Altiris Solutions	5-4
Altiris PC Transplant Pro	5-5
System Software Manager	5-6

6 マルチブート

デフォルトのブート シーケンスの概要	6-2
[Computer Setup]でのブート可能なデバイスの有効化	6-4
マルチブートの結果の概要	6-5
マルチブート設定の指定	6-6
新しいデフォルトのブート シーケンスの設定	6-6
MultiBoot Express画面の設定	6-7
MultiBoot Express設定の入力	6-8

7 プレゼンテーション モード	
Quick Launch Buttonsソフトウェアの起動	7-2
プレゼンテーション モードの設定の変更	7-4
プレゼンテーション モードの使用	7-5
8 [Computer Setup]	
[Computer Setup]の使用	8-1
[Computer Setup]へのアクセス	8-2
[Computer Setup]のデフォルトの復元	8-2
[File] (ファイル) メニューの選択	8-3
[Security] (セキュリティ設定) メニューの選択	8-4
[Tools] (ツール) メニューの選択	8-4
[Advanced] (詳細設定) メニューの選択	8-5
9 ソフトウェアの更新とリストア (復元)	
ソフトウェアの更新準備	9-1
ノートブック コンピュータ情報へのアクセス	9-2
インターネットからのソフトウェアのダウンロード	9-3
システムROMのダウンロード	9-4
その他のソフトウェアのダウンロード	9-5
システムの復元	9-6
データの保護	9-6
[システムの復元]ポイントの設定 (Windows XPのみ)	9-6
オペレーティングシステムの修復	9-7
オペレーティングシステムの再インストール	9-8
デバイス ドライバとその他のソフトウェアの 再インストール	9-10

索引

セットアップ

ソフトウェアのセットアップ

ノートブック コンピュータの電源を初めて入れると、ソフトウェア セットアップの開始画面が表示されます。画面の指示に従って手順を進める前に、以下の注意事項およびこの章に記載されているインストールに関する情報をお読みください。



注意：データの損傷を防ぎ、正しいデバイス ドライバをインストールするため、ソフトウェア セットアップを実行するときは、必ず以下の注意事項を守ってください。

- ACコンセントからノートブック コンピュータの電源コードを抜かないでください。
- ノートブック コンピュータの電源を切らないでください。
- ドライブを着脱しないでください。

- ソフトウェアのセットアップを開始したら、最後まで中断せずに手順に従って操作してください。セットアップにかかる時間はソフトウェアにより異なります。
- 言語の選択は慎重に行ってください。選択しなかった言語は、セットアップ開始時にシステムから削除され、復元できなくなります。
- 使用許諾契約書への同意を求められたときに、ソフトウェアのセットアップを続けるには、[同意する]を選択する必要があります。

- プリロードされているソフトウェア アプリケーションはノートブック コンピュータに含まれていますが、[Software Setup]ユーティリティからインストールする必要があります。プリインストールされているソフトウェア アプリケーションはすでにコンピュータにインストールされており、特にインストール手順を行う必要はありません。
- このガイドでは、ノートブック コンピュータをネットワークに接続した場合に生じる違いについては記述していません。
- このガイドでは、Windows® 2000、Windows XP Professional、および Windows XP Home オペレーティング システムについて記述しています。このガイド内の説明や手順は、ノートブック コンピュータのご購入後にインストールされたその他のオペレーティング システムでの操作と一致しない場合があります。
- このガイドの記述は、Windows XPでデフォルトで使用されるカテゴリ表示を基にしています。お使いのノートブック コンピュータをクラシック表示に設定している場合は、コンピュータの表示がこのガイドの記述内容と異なることがあります。表示を切り替える方法については、Windows XPの[ヘルプとサポート]を参照してください。

別売ソフトウェアのインストール

市販のソフトウェアまたはプリロードされているユーティリティは、セットアップの終了後、好きな時にインストールできます。

- 市販のソフトウェアをインストールする方法については、ソフトウェアに付属の説明書を参照してください。
- プリロードされているユーティリティをインストールするには、以下の手順で操作します。
 - Windows 2000をお使いの場合 : [スタート]→[プログラム]→[Software Setup] (ソフトウェアのセットアップ) の順に選択します。
 - Windows XPをお使いの場合 : [スタート]→[すべてのプログラム]→[Software Setup]の順に選択します。

セットアップ ウィザードがロードされ、アプリケーションの一覧が表示されます。インストールするアプリケーションを選択し、画面上の指示に従って操作します。



付属のHPユーティリティをインストールせずに、説明および必要な空き容量を確認するには、以下の手順で操作します。

- Windows 2000をお使いの場合 : [スタート]→[プログラム]→[Software Setup]の順に選択します。
- Windows XPをお使いの場合 : [スタート]→[すべてのプログラム]→[Software Setup]の順に選択します。

ユーティリティに関する情報を確認したら、[キャンセル]をクリックします。

地域設定の選択

キーボードの言語、時刻や日付、および通貨形式などの地域設定は、オペレーティング システムで設定します。地域設定の画面を表示するには、以下の手順で操作します。

- Windows 2000をお使いの場合 : [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[日付と時刻]の順に選択するか、または[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[地域のオプション]の順に選択します。
- Windows XPをお使いの場合 : [スタート]→[コントロール パネル]→[日付、時刻、地域と言語のオプション]→[日付と時刻]の順に選択するか、または [スタート]→[コントロール パネル]→[日付、時刻、地域と言語のオプション]→[地域と言語のオプション]の順に選択します。

地域設定を選択する方法については、[地域のオプション] (Windows 2000の場合) または[地域と言語のオプション] (Windows XPの場合) ウィンドウを開き、状況依存ヘルプを参照してください。状況依存ヘルプを使用するには、ウィンドウの右上隅にある[?]ボタンを選択し、調べる項目を選択します。その項目の定義、説明、または手順が表示されます。

画面設定の選択

画面により多くの項目を表示したり、画面上の項目を大きく表示したりするには、オペレーティングシステムで画面解像度の設定を変更します。画面解像度の設定画面を表示するには、以下の手順で操作します。

- Windows 2000をお使いの場合 : [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[画面]→[設定]タブの順に選択します。
- Windows XPをお使いの場合 : [スタート]→[コントロールパネル]→[デスクトップの表示とテーマ]→[画面]→[設定]タブの順に選択します。

無線LANおよびBluetoothの設定

お使いのノートブックコンピュータが無線LAN(WLAN)またはBluetoothに対応している場合は、これらのデバイスを使用する前に設定を行う必要があります。

無線LANデバイスの使用および設定については、お使いのノートブックコンピュータに同梱されている『スタートアップガイド』を参照してください。『スタートアップガイド』には無線LANのセットアップおよび正しいマニュアルの参照先に関する情報を収録しています。

Bluetoothの設定および使用については、ノートブックコンピュータに付属のBluetoothのDocumentation Library CDを参照してください。



無線LANおよびBluetoothのオプションは、国によっては対応していない場合があります。

ノートブック コンピュータの保護

ノートブック コンピュータの電源切断

ノートブック コンピュータの電源を切るときは、できる限り以下に示す正規のWindowsのシャットダウン手順を使用してください。

- Windows 2000またはWindows XP Professionalをお使いの場合 : [スタート]→[シャットダウン]→[シャットダウン]の順に選択し、[OK]ボタンを選択します。
- Windows XP Homeをお使いの場合 : [スタート]→[終了オプション]ボタン→[電源を切る]ボタンの順に選択します。

サージ電圧からのノートブック コンピュータの保護

不安定な電力供給や雷などによって発生するサージ電圧からノートブック コンピュータを守るために、次の点に注意してください。

- ノートブック コンピュータの電源コードを、別売の高品質なサージプロテクタに接続してください。サージプロテクタは、一般のコンピュータ販売店や電化製品店で購入できます。
- モデムを電話回線に接続するケーブルにもサージ対策を行ってください。
- ノートブック コンピュータをバッテリ電源で動作させるか、電源を切って電源コードを抜いてください。サージプロテクタは、一般のコンピュータ販売店や電化製品店で購入できます。

ウィルスからのノートブック コンピュータの保護

ノートブック コンピュータで電子メールを使用するとき、またはネットワークやインターネットにアクセスするときは、コンピュータがコンピュータ ウィルスの危険にさらされます。コンピュータ ウィルスに感染すると、オペレーティング システム、アプリケーション、ユーティリティなどが使用できなくなったり、正常に動作しなくなったりすることがあります。

ウィルス対策ソフトウェアを使用すれば、ほとんどのウィルスの検出と駆除、およびウィルスの被害にあった箇所の修復ができます。新しく発見されたウィルスからノートブック コンピュータを保護するには、ウィルス対策ソフトウェアをインストールして定期的に更新が必要があります。

2

電源

電源の選択

このノートブック コンピュータは、内部または外部AC電力で動作できます。以下の表で、一般的な作業に最適な電源について説明します。

作業	推奨される電源
一般的なソフトウェア アプリケーションを使用する	<ul style="list-style-type: none">■ 充電済みのバッテリ パックをノートブック コンピュータに装着します■ 次の機器の1つから外部電力を供給します<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> ACアダプタ<input type="checkbox"/> ポートリブリケータ（別売）<input type="checkbox"/> カー アダプタ/チャージャ（別売）
ノートブック コンピュータのバッテリ パックを充電または調整する	<ul style="list-style-type: none">■ 次の機器から外部電力を供給します<ul style="list-style-type: none">■ ACアダプタ■ カー アダプタ/チャージャ（別売）■ ポートリブリケータ（別売）
システム ソフトウェアをインストールまたは変更する、またはCDに書き込む	<ul style="list-style-type: none">■ 次の機器から外部電力を供給します<ul style="list-style-type: none">■ ACアダプタ■ ポートリブリケータ（別売）

スタンバイおよびハイバネーションの概要

スタンバイおよびハイバネーションは省電力機能であり、電力を節約し、起動時間を短縮します。スタンバイおよびハイバネーションは、ユーザまたはシステムが起動できます。それぞれの設定の使用条件について詳しくは、この章の「[スタンバイ、ハイバネーション、または電源切断の実行](#)」を参照してください。

スタンバイ

スタンバイは、使用されていないシステム コンポーネントへの電力供給を少なく抑えます。スタンバイが起動されると、データがRAM（ランダムアクセスメモリ）に保存され、画面がクリアされます。ユーザがスタンバイから復帰すると、中断した時点の作業が元通りに画面に表示されます。

- 通常、スタンバイを起動する前にデータを保存する必要はありませんが、念のため保存しておくことをお勧めします。
- ノートブック コンピュータがスタンバイ状態のときは、電源/スタンバイ ランプが点滅します。



注意: 完全なローバッテリ状態になることを防ぐため、お使いのノートブック コンピュータを長時間スタンバイ状態にしておかいでください。コンピュータは外部電源に接続してください。

ハイバネーション

ハイバネーションは省電力機能の1つで、データをハードドライブのハイバネーションファイルに保存した後、ノートブック コンピュータの電源を切る保護機能もあります。ハイバネーションから復帰すると、中断した時点の作業が元通りに画面に表示されます。電源投入時パスワード (Power-on password) が設定されている場合は、ハイバネーションから復帰するときにパスワードを入力する必要があります。

ハイバネーションは、無効に設定することができます。ただし、ハイバネーションが無効に設定されており、ノートブックコンピュータがローバッテリ状態に達した場合、コンピュータの電源がオンまたはスタンバイ状態のときにデータは自動的に保存されません。

ハイバネーションが無効に設定されている場合、[電源オプション] ウィンドウに[休止状態]オプションは表示されません。[電源オプション] ウィンドウで[休止状態]オプションを選択するには、ハイバネーションを有効にしておく必要があります。ハイバネーションが有効に設定されているかを確認するには、以下の手順で操作します。

- Windows 2000をお使いの場合 : [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[電源オプション]アイコン→[休止状態]タブの順に選択します。[休止状態をサポートする]チェックボックスがオンになっていることを確認します。
- Windows XPをお使いの場合 : [スタート]→[コントロールパネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[休止状態]タブの順に選択します。[休止状態を有効にする]チェックボックスがオンになっていることを確認します。



注意:ハイバネーションの起動中にノートブックコンピュータのシステムのコンフィギュレーションを変更すると、ハイバネーションから復帰できなくなることがあります。ハイバネーションの起動中は、必ず以下の注意事項を守ってください。

- ノートブックコンピュータをポートリプリケータに取り付けたり取り外したりしないでください。
- メモリモジュールを着脱しないでください。
- ハードドライブを着脱しないでください。
- 外付けデバイスを取り付けたり取り外したりしないでください。
- PCカードやSD(Secure Digital)カードを挿入したり取り出したりしないでください。

スタンバイ、ハイバネーション、または 電源切断の実行

ここでは、スタンバイやハイバネーションの起動、およびノートブックコンピュータの電源切断をいつ行うかについて説明します。

作業を中断する場合

スタンバイを起動すると画面がクリアされ、通常の動作時より消費電力が抑えられます。スタンバイ状態から復帰すると、直ちに画面が元の状態に戻ります。

ハイバネーションを起動すると画面がクリアされ、データがハードドライブに保存され、スタンバイより消費電力をさらに少なく抑えることができます。

長時間ノートブックコンピュータを外部電力に接続しない場合は、バッテリパックの寿命を延ばすためにコンピュータの電源を切り、バッテリパックを取り出しておくことをお勧めします。バッテリパックの保管方法について詳しくは、Documentation Library CDに収録されている『ハードウェアガイド』の「バッテリパック」を参照してください。

電力の供給が不安定な場合

ハイバネーションが有効に設定されていることを確認します。バッテリ電源を使用しており、外部電源に接続できない場合は特に注意してください。バッテリパックが消耗すると、ハイバネーションによりデータがハイバネーションファイルに保存され、ノートブックコンピュータの電源が切れます。

電力の供給が不安定なときに作業を中断する場合は、ハイバネーションを起動するか、ノートブックコンピュータの電源を切るか、またはデータを保存してからスタンバイを起動することをお勧めします。

赤外線通信またはドライブ メディアの使用中

スタンバイおよびハイバネーションは、赤外線通信やドライブ メディアの使用の妨げとなります。以下のガイドラインをお読みください。

- ノートブック コンピュータがスタンバイまたはハイバネーション状態の場合、赤外線通信を開始できません。
- ドライブ メディア（フロッピーディスク、CD、DVDなど）を使用中に、誤ってハイバネーションまたはスタンバイを起動した場合、次のことが発生します。
 - 再生が中断される場合があります。
 - [コンピュータが休止またはスタンバイ状態になると、再生は停止します。再生を再開するには、[再生]をクリックします。コンテンツは最初から再生されます。続行しますか?]という警告が表示される場合があります。[いいえ]を選択します。
 - オーディオやビデオの再生を再開する必要があることがあります。



注意: ドライブ メディアの使用中にスタンバイまたはハイバネーションを起動しないでください。起動すると、ビデオやオーディオが劣化したり、オーディオやビデオの再生機能が損失したりする恐れがあります。

デフォルトの電源設定の使用

次の表では、ノートブック コンピュータの工場出荷時の電源設定について説明します。ほとんどの設定は、ユーザの好みに応じて変更することができます。電源設定を変更する方法について詳しくは、この章の「[電源オプションの管理](#)」を参照してください。

ノートブック コンピュータまたはディスプレイのオン/オフ

操作	手順	結果
ノートブック コンピュータの電源を入れる	<p>電源ボタンを押します</p>  <p>電源ボタンを押すと、スタンバイ、ハイバネーション、またはシャットダウンから、ノートブックコンピュータの電源が入った状態になります</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源/スタンバイランプが点灯します ■ オペレーティングシステムがロードされます
ノートブック コンピュータの電源を切る*	<p>データを保存し、開いているすべてのアプリケーションを閉じます。以下の手順で操作します</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 電源ボタンを押し、画面の指示(表示される場合)に従ってノートブックコンピュータの電源を切ります ■ オペレーティングシステムを使用してノートブックコンピュータの電源を切ります <input type="checkbox"/> Windows 2000またはWindows XP Professionalをお使いの場合： [スタート]→[シャットダウン]→[シャットダウン]の順に選択して、[OK]ボタンを選択します <input type="checkbox"/> Windows XP Homeをお使いの場合：[スタート]→[終了オプション]→[電源を切る]の順に選択します 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源/スタンバイランプが消灯します ■ オペレーティングシステムが終了します ■ ノートブックコンピュータの電源が切れます
電源が入ったままディスプレイの電源を切る	ノートブックコンピュータのディスプレイを閉じます	ノートブックコンピュータを閉じるとディスプレイスイッチが作動し、ディスプレイの電源が切れます。これによりバッテリ電力が節約されます

*システムが応答せず、この手順でノートブックコンピュータの電源を切ることができない場合は、この章の「緊急停止手順の使用」を参照してください。

ハイバネーションからの復帰または起動

操作	手順	結果
ハイバネーションを起動する	<ul style="list-style-type: none"> ■ Windows 2000またはWindows XP Professionalをお使いの場合 : [スタート]→[シャットダウン]→[休止状態]の順に選択して、[OK]ボタンを選択します ■ Windows XP Homeをお使いの場合 : [スタート]→[終了オプション]→[休止状態]の順に選択します ([休止状態]オプションが表示されない場合は、[Shift]キーを押したままにします) ■ ハイバネーションの設定が行われている場合は、電源ボタンを短く押します 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源/スタンバイランプが消灯します ■ 画面がクリアされます
システムによってハイバネーションを起動する（ハイバネーションが有効に設定されている場合）	<p>操作は必要ありません</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ノートブックコンピュータがバッテリ電源で動作している場合、30分間コンピュータを使用しないまたはバッテリパックが完全なローバッテリ状態になると、ハイバネーションが起動します ■ ノートブックコンピュータが外部電源に接続されている場合、ハイバネーションは起動されません ■ 電源設定およびタイムアウトは、[電源オプション]ウィンドウで変更できます 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源/スタンバイランプが消灯します ■ 画面がクリアされます
ユーザまたはシステムによって起動されたハイバネーションから復帰する	<p>電源ボタンを押します</p>  <ul style="list-style-type: none"> 完全なローバッテリ状態からハイバネーションが起動された場合は、外部電源に接続するか充電済みのバッテリパックを装着してから電源ボタンを押します 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源/スタンバイランプが点灯します ■ 画面が元の状態に戻ります

スタンバイからの復帰または起動

操作	手順	結果
スタンバイを起動する	<ul style="list-style-type: none"> ■ ノートブック コンピュータの電源が入った状態で、[fn] + [f3] キーを押します ■ オペレーティング システムを使用します <ul style="list-style-type: none"> □ Windows 2000またはWindows XP Professionalをお使いの場合 : [スタート]→[シャットダウン]→[スタンバイ]の順に選択して、[OK]ボタンを選択します □ Windows XP Homeをお使いの場合 : [スタート]→[終了オプション]→[スタンバイ]の順に選択します ([スタンバイ]オプションが表示されない場合は、[shift]キーを押します) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源/スタンバイ ランプが点滅します ■ 画面がクリアされます
システムによってスタンバイを起動する	<p>操作は必要ありません</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ノートブック コンピュータがバッテリ電源で動作している場合、10分間コンピュータを使用しないとスタンバイが起動します（デフォルトの設定） ■ ノートブック コンピュータが外部電源に接続されている場合、スタンバイは起動されません ■ 電源設定およびタイムアウトは、[電源オプション]ウィンドウで変更できます 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源/スタンバイ ランプが点滅します ■ 画面がクリアされます
ユーザまたはシステムによって起動されたスタンバイから復帰する	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源ボタンを短く押します ■ ノートブック コンピュータがスタンバイ状態のときにディスプレイを開じた場合は、ディスプレイを開きます 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源/スタンバイ ランプが点灯します ■ 画面が元の状態に戻ります

緊急停止手順の使用

ノートブック コンピュータが応答せず、通常のWindowsのシャットダウン手順を使用できない場合は、記載されている順に次の緊急手順を試みてください。

- [ctrl]+[alt]+[delete]キーを押し、[シャットダウン]を選択します。
- 電源ボタンを5秒間以上押し続けます。
- ノートブック コンピュータを外部電源から切断し、バッテリパックを取り外します。バッテリパックの取り外しと保管について詳しくは、『ハードウェア ガイド』の「バッテリパック」の章を参照してください。



注意: 緊急停止手順を使用すると、保存されていないデータは失われます。

電源オプションの管理

ほとんどのデフォルトの電源設定は、[電源オプション]ウィンドウで変更できます。たとえば、バッテリパックがローバッテリ状態になったときに警告音を鳴らすように設定できます。また、電源ボタンのデフォルトの設定も変更できます。

デフォルトでは、ノートブック コンピュータの電源が入っている状態で、以下の機能を使用できます。

- 電源ボタンを短く押すとハイバネーションが起動します。
- [fn]+[f5]ホットキー（オペレーティングシステムでは「スリープボタン」と呼ばれます）を押すと、スタンバイが起動します。
- ディスプレイスイッチによりディスプレイの電源が切れます。ディスプレイスイッチは、ディスプレイを閉じると機能します。デフォルトおよびカスタム設定で、ディスプレイスイッチには、ノートブック コンピュータがスタンバイ状態のときにディスプレイを開くとスタンバイから復帰する機能もあります。

[電源オプション]ウィンドウへのアクセス

[電源オプション]ウィンドウにアクセスするには、タスクバーの[バッテリーメーター]アイコンをダブルクリックするか、以下の手順で操作します。

- Windows 2000をお使いの場合 : [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[電源オプション]の順に選択します。
- Windows XPをお使いの場合 : [スタート]→[コントロールパネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択します。

[バッテリ メーター]アイコンの表示

[バッテリ メーター]アイコンは、デフォルトでタスクバーに表示されます。このアイコンは、ノートブック コンピュータがバッテリ パックまたは外部電源のどちらで動作しているかを示す形に変わります。アイコンをダブルクリックすると、[電源オプション]ウィンドウが表示されます。

タスクバーの[バッテリ メーター]アイコンを表示または非表示にするには、以下の手順で操作します。

1. [電源オプション]ウィンドウを表示します。
2. [詳細] (Windows 2000の場合) または[詳細設定] (Windows XPの場合) タブを選択します。
3. [アイコンをタスクバーに常に表示する]チェック ボックスをオンまたはオフにします。
4. [OK]ボタンをクリックします。



Windows XPでタスクバーに配置したアイコンが見当たらない場合は、アイコンが隠れている可能性があります。タスクバーの矢印または太い縦線をクリックして拡大し、隠れているアイコンが表示されるようにします。

電源設定の指定または変更

[電源オプション] ウィンドウの[電源設定]タブでは、システム コンポーネントに電源レベルを割り当てることができます。ノートブック コンピュータがバッテリ パックと外部電源のどちらで動作しているかによって、異なる電源設定を割り当てることができます。

また、指定した時間が経過した後にスタンバイを起動するように、またはディスプレイかハードドライブの電源を切断するように電源レベルを設定できます。

電源レベルを設定するには、以下の手順で操作します。

■ Windows 2000をお使いの場合 :

1. [電源オプション] ウィンドウ→[電源設定]タブの順に選択します。
2. 画面上の一覧からオプションを選択します。
3. 新しい電源レベルを指定するには[名前を付けて保存]を選択します。

■ Windows XPをお使いの場合 :

1. [電源オプション] ウィンドウ→[電源設定]タブの順に選択します。
2. 変更する電源設定を選択して、画面上の一覧のオプションを調節します。
3. [適用]を選択します。

セキュリティ パスワードの使用

ノートブックの電源を入れたり、スタンバイまたはハイバネーションから復帰したりするときにパスワード入力を求めるように、セキュリティ機能を追加することができます。

パスワード入力を求めるように設定するには、[電源オプション] ウィンドウ → [詳細] または [詳細設定] タブの順に選択します。[スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求める] (Windows 2000の場合) または [スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める] (Windows XPの場合) チェック ボックスをオンにして、[OK] を選択します。

セキュリティ パスワードの使い方について詳しくは、このガイドの「[セキュリティ](#)」を参照してください。

プロセッサ パフォーマンスの制御

一部のノートブック コンピュータ モデルでは、Windows 2000 および Windows XP でプロセッサのパフォーマンスを制御するための独自のソフトウェアがインストールされています。CPU (central processing unit : 中央演算装置) 速度を最適のパフォーマンス モードに設定でき、電力消費を最適に設定できます。

たとえば、電源が外部電力からバッテリ パックの電力に切り替わるとき、またはノートブック コンピュータの使用がアクティブ状態とアイドル状態で切り替わるときに、プロセッサ速度を自動的に変更するようにソフトウェアを設定できます。

プロセッサ パフォーマンスの制御方法はオペレーティング システムによって異なります。

Windows 2000のプロセッサの制御

Windows 2000がインストールされ、Intel MobileプロセッサのSpeedStepテクノロジを搭載しているノートブックコンピュータをお使いの場合は、プロセッサ速度を調節できます。Intel SpeedStepは、オペレーティングシステムの電源管理設定とは関わりなく機能します。Intel SpeedStepは、個別にインストールする必要があります。

Intel SpeedStepのインストール (Windows 2000)

Intel SpeedStepテクノロジをインストールするには、[スタート]→[プログラム]→[Software Setup](ソフトウェアのセットアップ)の順に選択します。

セットアップ ウィザードがロードされ、利用できるアプリケーションの一覧が表示されます。[Intel SpeedStep]を選択し、画面上の指示に従って操作します。インストールが完了すると、ノートブックコンピュータの再起動を促すメッセージが表示されます。

SpeedStepをインストールすると、[電源オプション]ウィンドウに[Intel SpeedStep technology]タブが追加され、タスクバーにアイコンが追加されます。また、SpeedStep機能が自動的に有効になります。

デフォルトのSpeedStep設定は、外部電源の場合は[最大パフォーマンス]、バッテリ電源の場合は[バッテリに合わせたパフォーマンス]です。それぞれの設定について詳しくは、この章の「[パフォーマンスマードの選択 \(Windows 2000\)](#)」を参照してください。

インストール後にこのユーティリティにアクセスするには、タスクバーに表示されている[SpeedStep]アイコンを選択するか、[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[電源オプション]→[Intel SpeedStep technology]タブの順に選択します。

タスクバーの[SpeedStep]アイコンは、有効になっているSpeedStepモードを示します。アイコンの上にマウス ポインタを移動すると、現在のパフォーマンスマードが表示されます。アイコンを右クリックすると、パフォーマンスマードを変更できます。

パフォーマンス モードの選択（Windows 2000）

SpeedStepテクノロジでは、以下の3つの種類のパフォーマンス モードが事前に設定されています。

- [最大パフォーマンス]モード：プロセッサは最高速で動作し、最大のパフォーマンスを得ることができます。
- [自動]モード：プロセッサはノートブック コンピュータの使用中に加速し、アイドル状態のときは減速します。
- [バッテリに合わせたパフォーマンス]モード：プロセッサは低速で動作し、消費電力の節約とパフォーマンスのバランスを適度に保ちます。

ノートブック コンピュータが外部電源とバッテリ電源のどちらで動作しているかにかからわず、どのパフォーマンス モードでも動作可能です。

SpeedStepの設定（Windows 2000）

SpeedStepの設定値には、[SpeedStep] ウィンドウまたは[SpeedStep]アイコンからアクセスできます。SpeedStepは、[Computer Setup]ユーティリティで有効または無効にすることができます。



[SpeedStep] ウィンドウを開けない場合、およびアイコンが表示されない場合は、[Computer Setup]（コンピュータ セットアップ）ユーティリティで有効に設定できます。[SpeedStep] ウィンドウ アイコンやその他の設定値を有効にするには、この章の「[Computer Setup]ユーティリティでのSpeedStepの有効化（Windows 2000）」を参照してください。

[SpeedStep] ウィンドウの使用 (Windows 2000)

Windows 2000で[SpeedStep] ウィンドウを開くには、[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電源オプション]→[Intel SpeedStep technology]タブの順に選択します。次に、以下の表に従って設定値を指定します。

設定内容	手順
ノートブック コンピュータがバッテリ電源で動作している間、常に適用されるパフォーマンス モードを割り当てる	[バッテリで実行している場合]からパフォーマンス モードを選択し、[OK]を選択します
ノートブック コンピュータが外部電源で動作している間、常に適用されるパフォーマンス モードを割り当てる	[AC 電源の場合]からパフォーマンス モードを選択し、[OK]を選択します
電源の種類を切り替えて、パフォーマンス モードの設定を維持する	[バッテリで実行している場合]および[AC 電源の場合]リストから同じパフォーマンス モードを選択し、[OK]を選択します
タスクバーから[SpeedStep] アイコンを削除する	1. [タスクバーからアイコンを削除する]チェック ボックスをオンにします 2. [詳細] ウィンドウで[OK]を選択します 3. SpeedStepのメイン ウィンドウで[OK]または[適用]を選択します

[Computer Setup]ユーティリティでのSpeedStepの有効化 (Windows 2000)

非Windowsユーティリティである[Computer Setup]には、[SpeedStep]を有効または無効に設定する機能が含まれています。[Computer Setup]ユーティリティについて詳しくは、このガイドの「[\[Computer Setup\]](#)」を参照してください。

[Computer Setup]で[SpeedStep]にアクセスするには、以下の手順で操作します。

1. ノートブックコンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]ユーティリティを起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
2. 矢印キーを使用して、[Advanced]（詳細設定）→[Device Options]（デバイスオプション）の順に選択します。[Intel SpeedStepテクノロジ]で、次の操作を行います。
 - [Automatic]（自動）を選択して、SpeedStepのメインウィンドウでSpeedStepの設定をすべて有効にします。
 - [Disable]（無効）を選択して、ノートブックコンピュータが常にバッテリに合わせたパフォーマンスマードで動作するよう設定し、SpeedStepのメインウィンドウでSpeedStepの設定をすべて無効にします。
3. 設定内容を保存します。矢印キーを使用して [File]（ファイル）→ [Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、画面の指示に従います。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブックコンピュータの再起動時に有効になります。

Windows XPのプロセッサの制御

Windows XPには、オペレーティング システムの一部としてプロセッサ パフォーマンスの制御が含まれており、[電源オプション] ウィンドウで管理されます。

Windows XPのプロセッサの制御へのアクセス

Windows XPのプロセッサ パフォーマンスの制御にアクセスするには、[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[電源設定]タブの順に選択します。

選択した電源設定によって、ノートブック コンピュータが外部電源に接続されているとき、またバッテリ電力で動作しているときのプロセッサ のパフォーマンスが判断されます。外部電力やバッテリ電力に対応する各電源設定によって、特定のプロセッサの状態が設定されます。

ノートブック コンピュータが外部電力とバッテリ電力のどちらで動作しているかに応じて、さまざまな設定を使用できます。いったん電源レベルを設定したら、コンピュータのプロセッサ パフォーマンスを制御するためのその他の操作は必要ありません。

電源設定	外部電力使用時のプロセッサ パフォーマンス	バッテリ電力使用時のプロセッサ パフォーマンス
[自宅または会社のデスク]	常に最大のパフォーマンス 状態で動作します	パフォーマンス 状態が CPU の状態に基づいて判断されます
[ポータブル/ラップトップ]	パフォーマンス 状態が CPU の状態に基づいて判断されます	パフォーマンス 状態が CPU の状態に基づいて判断されます
[プレゼンテーション]	パフォーマンス 状態が CPU の状態に基づいて判断されます	最小のパフォーマンス 状態で起動し、バッテリの放電に合わせてリニア パフォーマンスの低下メカニズム(クロック調整停止機能)を使用します

(続く)

電源設定	外部電力使用時のプロセッサパフォーマンス	バッテリ電力使用時のプロセッサパフォーマンス
[常にオン]	常に最小のパフォーマンス状態で動作します	常に最小のパフォーマンス状態で動作します
[最小の電源管理]	パフォーマンス状態がCPUの状態に基づいて判断されます	パフォーマンス状態がCPUの状態に基づいて判断されます
[バッテリの最大利用]	パフォーマンス状態がCPUの状態に基づいて判断されます	最小のパフォーマンス状態で起動し、バッテリの放電に合わせてリニアパフォーマンスの低下メカニズム(クロック調整停止機能)を使用します

セキュリティ

セキュリティ機能のクイック リファレンス



セキュリティ機能は、誤った取り扱いに対処することを目的としていますが、ノートブック コンピュータの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。

Windowsオペレーティング システムのセキュリティ機能の他に、お使いのノートブック コンピュータでは次の表に示すセキュリティ機能を使用できます。これらのはほとんどは、[Computer Setup]で設定できます。詳しくは、このガイドの「[\[Computer Setup\]](#)」を参照してください。

セキュリティの対象	使用するセキュリティ機能
ノートブック コンピュータの不正な使用	電源投入時パスワード (Power-on password)
[Computer Setup] ユーアイリティ (f10) への不正なアクセス	HP管理者パスワード
ハードドライブのデータへの不正なアクセス	DriveLock (ドライブロック)

(続く)

セキュリティの対象	使用するセキュリティ機能
Windows ユーザ アカウントへの不正なアクセス	別売のスマート カード 有効なスマート カードには、Windows ユーザ パスワードおよび Windows 管理者パスワードを格納できます。このため、アカウントにアクセスするにはパスワードとスマート カードの両方が必要になります
データへの不正なアクセス	 このセキュリティ機能は一部のスマート カードでのみサポートされます。スマート カードについて詳しくは、この章の「スマート カード リーダーの使用」を参照してください
プロセッサのシリアル番号やその他のシステム識別情報への不正なアクセス	内蔵セキュリティ チップ  この機能は一部のノートブック コンピュータ モデルでのみ使用できます。詳しくは、このチップが内蔵されているコンピュータに付属の『HP ProtectTools 内蔵セキュリティ マネージャ お使いになる前に』を参照してください
ノートブック コンピュータの不正な移動	HP 管理者パスワード ([Computer Setup] で、システム情報を保護するために使用します) セキュリティ ロック ケーブル用スロット(別売のセキュリティ ロック ケーブルとともに使用) セキュリティ ロック ケーブル用スロットについて詳しくは、Documentation Library CD に収録されている『ハードウェアガイド』の「外付けデバイス」を参照してください

[Computer Setup]でのセキュリティ設定

ほとんどのセキュリティの設定は、[Computer Setup]で設定します。

[Computer Setup]はWindowsのユーティリティではないため、ノートブック コンピュータのポインティングデバイスはサポートされません。

[Computer Setup]を使用するときは、キー入力で移動や選択を行う必要があります。

[Computer Setup]について詳しくは、「[\[Computer Setup\]](#)」を参照してください。

パスワードの使用

ほとんどのセキュリティ機能では、パスワードが使用されます。パスワードを設定したら、パスワードを書き留め、ノートブック コンピュータから離れた安全な場所に保管してください。

- 電源投入時パスワードやHP管理者パスワードを忘れてしまった場合は、弊社のサポート担当者がノートブック コンピュータをリセットするまで、コンピュータを起動したりハイバネーションから復帰できなくなります。コンピュータに同梱されている『保証規定(サービスおよびサポートを受けるには)』を参照して、弊社のサポート窓口にお問い合わせください。
- DriveLockのuser passwordだけを忘れてしまった場合は、master passwordを使用してDriveLockを解除できます。詳しくは、この章の「[DriveLock \(ドライブロック\) の概要](#)」を参照してください。



注意：DriveLock (ドライブロック) のuser password (ユーザ パスワード) と master password (マスタ パスワード) の両方を忘れてしまった場合は、ハードドライブが永久にロックされたままになり、使用できなくなってしまいます。user password と master passwordを両方とも忘れたためにハードドライブを交換する必要が生じた場合、保証期間内でもドライブの交換は有償で承っておりますのでご了承ください。

HPパスワードとWindowsのパスワードの概要

HPセキュリティ機能とWindowsオペレーティングシステムのセキュリティ機能は、互いに独立しています。たとえば、[Computer Setup]で使用禁止にした装置をWindowsで使用可能にすることはできません。

また、HPパスワードとWindowsのパスワードは互いに独立しています。次の表にHPパスワードとWindowsのパスワードの一覧を示し、それぞれの機能を説明します。

HPパスワード*	機能
HP管理者パスワード	[Computer Setup]にアクセスするために使用します
電源投入時パスワード (Power-on password)	起動時にノートブックコンピュータにアクセスするために使用します
DriveLock（ドライブロック）の user password（ユーザパスワード）	ノートブックコンピュータの通常のユーザが、起動時にDriveLockによって保護されたドライブにアクセスするために使用します
DriveLockのmaster password (マスタパスワード)	HP管理者が、DriveLockによって保護されているドライブにアクセスするため、およびDriveLockによるドライブへの保護を解除するするために使用します
スマートカードパスワード	Windowsの管理者パスワードとユーザパスワードを保管します。また、ノートブックコンピュータの起動時にWindowsにアクセスするため使用します スマートカードリーダーがこの機能に対応している場合は、電源投入時パスワードおよびHP管理者パスワードをスマートカードに保管できます

*HPパスワードは[Computer Setup]で有効に設定する必要があります。詳しくは、このガイドの「[Computer Setup]」を参照してください。

（続く）

Windowsのパスワード

管理者パスワード	起動時にパスワードの入力を要求するようWindowsを設定してある場合に、Windowsの管理者としてノートブックコンピュータにログオンするために使用します
ユーザ パスワード	起動時にパスワードの入力を要求するようWindowsを設定してある場合に、ユーザとしてノートブックコンピュータにログオンするために使用します

HPパスワードとWindowsのパスワードに関するガイドライン

HPパスワードとWindowsのパスワードは、互いに代替できるものではありません。HPパスワードの入力画面ではHPパスワードを、Windowsのパスワードの入力画面ではWindowsのパスワードを使用する必要があります。たとえば、次のようにになります。

- 電源投入時パスワード (Power-on password) を設定した場合は、ノートブックコンピュータが起動するかハイバネーションから復帰するときに、Windowsのパスワードではなく電源投入時パスワードを入力する必要があります。
- スタンバイから復帰する前にパスワードの入力を要求するようにWindowsを設定した場合、スタンバイから復帰するには電源投入時パスワードではなくWindowsのパスワードを入力する必要があります。

以下の点を考慮すれば、HPパスワードとして使用する単語、文字列、数字、またはスラッシュを、別のHPパスワードやWindowsのパスワードとして使用できます。

- HPパスワードは32文字以内の半角英数字の組み合わせで、大文字と小文字は区別されません。

- HP パスワードは、設定したときと同じ種類のキーで入力する必要があります。たとえば、ファンクションキーの下にある数字キーを使って HP パスワードを設定した場合、内蔵テンキーを使って入力しても同じ文字として認識されません。内蔵テンキーについては、Documentation Library CD に収録されている『ハードウェア ガイド』の「ポインティング デバイスとキーボード」の章を参照してください。

電源投入時パスワード (Power-On Password) の概要

電源投入時パスワードはノートブック コンピュータが不正に使用されることを防ぎます。いったん設定すると、コンピュータの電源投入時または再起動時に電源投入時パスワードの入力が必要になります。電源投入時パスワードには以下の特徴があります。

- パスワードは、設定、入力、変更または削除する際に画面に表示されません。
- パスワードを入力するときは、設定したときと同じキーを使う必要があります。たとえば、ファンクションキーの下にある数字キーを使って電源投入時パスワードを設定した場合、内蔵テンキーを使って入力しても同じ文字として認識されません。
- 32 文字以内の半角英数字の組み合わせで、大文字と小文字は区別されません。

電源投入時パスワードの設定

[Computer Setup] ユーティリティを使用して、電源投入時パスワードを設定、変更、または削除できます。パスワードを管理するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup] を起動します。画面の左下隅に [F10=ROM Based Setup] メッセージが表示されている間に、[f10] キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2] キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1] キーを押します。

2. 矢印キーを使用して、[Security]（セキュリティ設定）→[Power-On password]（電源投入時パスワード）の順に選択して、[enter]キーを押します。次に、以下の手順で操作します。
 - 電源投入時パスワードを設定する場合は、パスワードを[New Password]（新しいパスワード）フィールドと[Verify New Password]（新しいパスワードの確認入力）フィールドに入力して、[f10]キーを押します。
 - 電源投入時パスワードを変更する場合は、現在のパスワードを[Old Password]（現在のパスワード）フィールドに入力し、新しいパスワードを[New Password]フィールドと[Verify New Password]フィールドに入力して、[f10]キーを押します。
 - 電源投入時パスワードを削除する場合は、現在のパスワードを[Old Password]フィールドに入力して、[f10]キーを押します。
3. 設定内容を保存するには、矢印キーを使用して[File]（ファイル）→[Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。
[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブックコンピュータの再起動時に有効になります。

電源投入時パスワードの入力

電源投入時パスワードの入力画面が表示されたら、パスワードを入力して[enter]キーを押します。3回続けて間違えて入力した場合は、ノートブックコンピュータを再起動し、入力しなおしてください。

HP管理者パスワードの概要

HP管理者パスワードは、[Computer Setup]ユーティリティ内のコンフィギュレーションの設定値とシステム識別情報を保護します。いったんこのパスワードを設定すると、次回から[Computer Setup]ユーティリティで操作するにはパスワードの入力が必要になります。HP管理者パスワードには、次のような特徴があります。

- HP 管理者パスワードと Windows の管理者パスワードには、同じ単語、文字列、数字、またはスラッシュを使用できますが、互いに代替できるものではありません。
- パスワードは、設定、入力、変更または削除する際に画面に表示されません。
- パスワードを入力するときは、設定したときと同じキーを使う必要があります。たとえば、ファンクションキーの下にある数字キーを使ってHP管理者パスワードを設定した場合、内蔵テンキーを使って入力しても同じ文字として認識されません。
- 32文字以内の半角英数字の組み合わせで、大文字と小文字は区別されません。

HP管理者パスワードの設定

HP管理者パスワードは、[Computer Setup]ユーティリティで設定、変更、または削除できます。パスワードを管理するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。

2. 矢印キーを使用して、[Security]（セキュリティ設定）→[Administrator Password]（管理者パスワード）の順に選択して、[enter]キーを押します。次に、以下の手順で操作します。
 - HP 管理者パスワードを設定する場合は、パスワードを [New Password]（新しいパスワード）フィールドと [Verify New Password]（新しいパスワードの確認入力）フィールドに入力して、[f10]キーを押します。
 - HP 管理者パスワードを変更する場合は、現在のパスワードを [Old Password]（現在のパスワード）フィールドに入力し、新しいパスワードを [New Password] フィールドと [Verify New Password] フィールドに入力して、[f10]キーを押します。
 - HP 管理者パスワードを削除する場合は、現在のパスワードを [Old Password] フィールドに入力して、[f10]キーを押します。
3. 設定を保存してから[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して[File]（ファイル）→[Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。
[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブック コンピュータの再起動時に有効になります。

HP管理者パスワードの入力

[Computer Setup]の入力画面が表示されたら、管理者パスワードを設定したときと同じ種類のキーを使用して入力し、[enter]キーを押します。3回続けて間違えて入力した場合は、ノートブック コンピュータを再起動し、入力しなおしてください。

DriveLock（ドライブロック）の概要



注意：DriveLockのuser password（ユーザ パスワード）とmaster password（マスタ パスワード）を忘れてしまうと、ハードドライブを永久に使用できなくなります。master passwordを紙などに書いて他人の目にふれない安全な場所に保管しておくことをおすすめします。なお、master passwordとuser passwordを両方とも忘れたためにハードドライブを交換する必要が生じた場合、保証期間内でもドライブの交換は有償で承っておりますのでご了承ください。

DriveLockは、ハードドライブのデータへの不正なアクセスを防止します。いったんDriveLockによるプロテクトを設定すると、ドライブにアクセスするときにパスワードの入力が必要になります。DriveLockのパスワードでドライブにアクセスするには、ドライブを別売のポートリピケータや外付けマルチベイではなく、ノートブック コンピュータに装着する必要があります。

DriveLockのパスワードには、user passwordとmaster passwordがあります。

- DriveLockによってプロテクトされているハードドライブにアクセスするには、user passwordまたはmaster passwordのどちらかが必要です。
- DriveLockによるドライブのプロテクトを解除しないと、user passwordやmaster passwordを削除できません。DriveLockによるハードドライブのプロテクトを解除するには、master passwordが必要です。
- user passwordは、通常システム管理者ではなく実際にハードドライブを使用するユーザが設定します。master passwordは、システム管理者または実際にハードドライブを使用するユーザが設定します。
- user passwordとmaster passwordは、同じであってもかまいません。



電源投入時パスワード（Power-on password）とDriveLockパスワードの両方に同じパスワードを使用している場合、DriveLockでプロテクトされたハードドライブからノートブック コンピュータを起動すると、電源投入時パスワードとDriveLockパスワードの両方の入力ではなく、電源投入時パスワードの入力のみを要求されます。

DriveLockパスワードの設定



注意: DriveLockのuser password（ユーザ パスワード）とmaster password（マスター パスワード）を忘れてしまうと、ハードドライブを永久に使用できなくなります。master passwordを紙などに書いて他人の目にふれない安全な場所に保管しておくことをおすすめします。なお、master passwordとuser passwordを両方とも忘れたためにハードドライブを交換する必要が生じた場合、保証期間内でもドライブの交換は有償で承っておりませんのでご了承ください。



注意: データが失われたり、ノートブック コンピュータやハードドライブが損傷したりすることを防ぐため、メインハードドライブを着脱する前に、コンピュータの電源を切ってください（メインハードドライブとは、ハードドライブ ベイで使用するハードドライブのことです）。

[Computer Setup]でDriveLockの設定値にアクセスするには、いったんノートブック コンピュータの電源を切ってから、再び電源を入れる必要があります。Windowsを再起動して[Computer Setup]を実行する場合は、DriveLockの設定値にアクセスできません。

1. ノートブック コンピュータの電源が切断され、ハイバネーション状態でないことを確認するには、電源ボタンを押します。画面に中断前のデータが表示されたら、コンピュータの電源を切ります。
2. 別売のポート リプリケータや外付けマルチベイではなく、ノートブック コンピュータ本体のハードドライブ ベイにハードドライブを装着します。
3. ノートブック コンピュータの電源を入れて（再起動してはなりません）、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。

4. 矢印キーを使用して [Security] (セキュリティ設定) → [DriveLock passwords] (ドライブロック パスワード) の順に選択し、[enter] キーを押します。
5. プロテクトするハードドライブが取り付けられているベイを選択して、[f10]キーを押します。
6. プロテクトを有効にします。
7. 警告メッセージが表示されます。操作を続ける場合は、[f10]キーを押します。
8. user passwordを[New Password] (新しいパスワード) フィールドと [Verify New Password] (新しいパスワードの確認入力) フィールドに入力して、[f10]キーを押します。
9. master passwordを[New Password]フィールドと[Verify New Password] フィールドに入力して、[f10]キーを押します。
10. 選択したドライブに対するDriveLockのプロテクトを確定するには、確認用のフィールドにDriveLockと入力して、[f10]キーを押します。
11. DriveLockの設定を保存するには、矢印キーを使用して[File] (ファイル) →[Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。
[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブック コンピュータの再起動時に有効になります。

DriveLockパスワードの入力

1. ハードドライブが、別売のポートリプリケータや外付けマルチベイではなくノートブック コンピュータ本体のハードドライブベイに装着されていることを確認します。
2. DriveLockパスワードの入力画面が表示されたら、パスワードを設定したときと同じ種類のキーを使用してuser password またはmaster passwordを入力し、[enter]キーを押します。
3. 2回続けて間違えて入力した場合は、ノートブック コンピュータを再起動し、入力しなおしてください。

DriveLockパスワードの変更



注意: データが失われたり、ノートブック コンピュータやハードドライブが損傷したりすることを防ぐため、メインハードドライブを着脱する前に、コンピュータの電源を切ってください（メインハードドライブとは、ハードドライブベイで使用するハードドライブのことです）。

[Computer Setup]でDriveLockの設定値にアクセスするには、ノートブック コンピュータの電源をいったん切ってから、入れなおす必要があります。Windowsを再起動して[Computer Setup]を実行する場合は、DriveLock の設定値にアクセスできません。

1. ノートブック コンピュータの電源が切断されており、ハイバネーション状態でないことを確認するには、電源ボタンを押します。画面に中断前のデータが表示されたら、コンピュータの電源を切ります。
2. ハードドライブが、別売のポートリプリケータや外付けマルチベイではなくノートブック コンピュータ本体のハードドライブベイに装着されていることを確認します。
3. ノートブック コンピュータの電源を入れて（再起動ではありません）、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
4. 矢印キーを使用して [Security]（セキュリティ設定）→ [DriveLock passwords]（ドライブロック パスワード）の順に選択し、[enter]キーを押します。
5. 矢印キーを使用して、プロテクトされているハードドライブが装着されているベイを選択し、[f10]キーを押します。

6. 矢印キーを使用して、変更するパスワードに対するフィールドを選択し、[Old Password]（古いパスワード）フィールドに現在使用しているパスワード、[New Password]（新しいパスワード）と[Verify New Password]（新しいパスワードの確認）フィールドに新しいパスワードを入力して、[f10]キーを押します。
7. 設定を保存するには、矢印キーを使用して[File]（ファイル）→[Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。
[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブックコンピュータの再起動時に有効になります。

DriveLockによるハードドライブのプロテクトの解除

[Computer Setup]でDriveLockの設定値にアクセスするには、ノートブックコンピュータの電源をいったん切ってから、入れなおす必要があります。Windowsを再起動して[Computer Setup]を実行する場合は、DriveLockの設定値にアクセスできません。

1. ノートブックコンピュータの電源が切断されており、ハイバネーション状態でないことを確認するには、電源ボタンを押します。画面に中断前のデータが表示されたら、コンピュータの電源を切ります。
2. ハードドライブが、別売のポートリプリケータや外付けマルチベイではなくノートブックコンピュータ本体のハードドライブベイに装着されていることを確認します。
3. ノートブックコンピュータの電源を入れて（再起動ではありません）、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
4. 矢印キーを使用して [Security]（セキュリティ設定）→ [DriveLock passwords]（ドライブロックパスワード）の順に選択し、[enter]キーを押します。

5. 矢印キーを使用して、プロテクトされているハードドライブが装着されているベイを選択し、[f10]キーを押します。
6. プロテクションフィールドを無効にして、[f10]キーを押します。
7. [Old Password] (古いパスワード) フィールドにmaster passwordを入力し、[f10]キーを押します。
8. 設定を保存するには、矢印キーを使用して[File] (ファイル) →[Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。
[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブックコンピュータの再起動時に有効になります。

装置の使用禁止

[Computer Setup] の[Device Security] (デバイスセキュリティ) で、ほとんどのポートおよびドライブを使用禁止または部分的に使用禁止にできます。

1. ノートブックコンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
2. [Security] (セキュリティ設定) →[Device Security] (デバイスセキュリティ) の順に選択し、装置の有効/無効を設定します。
3. 設定を確定するには、[f10]キーを押します。
4. 設定を保存するには、[File] (ファイル) →[Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブックコンピュータの再起動時に有効になります。

HP ProtectTools内蔵セキュリティ マネージャの使用

HP ProtectTools内蔵セキュリティ マネージャは、一部のノートブック コンピュータに内蔵されているセキュリティ チップを設定するためのインターフェースです。

HP ProtectTools内蔵セキュリティ マネージャを使用するには、まず内蔵セキュリティ チップを有効にして、適切なソフトウェアおよびドライバをインストールする必要があります。ソフトウェアとドライバのインストール、内蔵セキュリティ チップの有効化、および内蔵セキュリティの使用については、セキュリティ チップが内蔵されているノートブック コンピュータに付属の『お使いになる前に HP ProtectTools 内蔵セキュリティ マネージャ』を参照してください（このガイドは一部の言語でのみ提供されます）。

システム情報の使用

システム情報には、お使いのノートブック コンピュータおよびバッテリパックについての詳細情報が表示されます。以下の項では、他のユーザがシステム情報を表示させることを防ぐ方法、および[Computer Setup]でシステム情報のオプションを設定する方法について説明します。

[システム情報]オプションでは、次の作業を行うことができます。

- ノートブック コンピュータのシリアル番号、アセット タグ (Asset Tag)、およびオーナシップ タグ (Ownership Tag) の表示または入力
- バッテリ パックのシリアル番号の表示



この情報への不正なアクセスを防ぐには、HP管理者パスワードを作成する必要があります。詳しくは、この章の「[HP管理者パスワードの設定](#)」を参照してください。

[システム情報]オプションの設定

1. [Computer Setup]を起動するには、ノートブックコンピュータの電源を入れるか、再起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
2. 以下の手順に従って、選択した設定値にアクセスするか、値を設定します。
 - システム情報全般を表示する場合は、[File]（ファイル）→[System Information]（システム情報）の順に選択します。
 - システムコンポーネントの識別番号を表示または入力する場合は、[Security]（セキュリティ設定）→[System ID]（システムID）の順に選択します。
3. 情報または設定を確定するには、[f10]キーを押します。
4. 情報または設定を保存するには、矢印キーを使用して[File]→[Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブックコンピュータの再起動時に有効になります。

スマートカードリーダーの使用

一部のノートブックコンピュータモデルには、スマートカードリーダーが内蔵されています。これらのモデルには、スマートカードリーダー用のドライバがプリインストールされています。ドライバをインストールするための操作は必要ありません。

スマートカードリーダーは、Windows 2000およびWindows XPオペレーティングシステムで動作するように設計された、業界標準のスマートカードとともに使用します。

スマートカードはさまざまな製造元や販売店から入手できます。スマートカードを使用すると、Windowsのユーザーアカウントを保護したりオンラインでの操作をセキュリティ保護したりできます。カードの性能は、スマートカード自体の性能のほか、スマートカードを使用するアプリケーションにも依存します。

また、スマートカードリーダーとともに個人のデジタル証明書を使用できます。このためには、個人のデジタル証明書および購入するソフトウェアがMicrosoft PC/SCスマートカード標準規格に準拠していることを確認してください。

スマートカードリーダーの保護

お使いのスマートカードリーダーを保護するために、一部のノートブックコンピュータでHP ProtectTools Smart Card Managerユーティリティを使用できます。このユーティリティを使用すると、お使いのスマートカードおよびスマートカードリーダーへの不正なアクセスを防ぐことができます。このユーティリティのダウンロードおよびProtectToolsについて詳しくは、HPのWebサイト、<http://www.hp.com/products/security>を参照してください（情報は英語でのみ提供されます）。

HP ProtectTools Smart Card Managerの使用方法については、ユーティリティのヘルプメニューを参照してください。

4

オプティカル ドライブ ソフトウェア

CDとDVDの使用

この章では、一部のノートブック コンピュータにプリロードおよびプリインストールされているソフトウェアを使用した、CDやDVDの再生に関するガイドラインを示します。このソフトウェアは、コンピュータ本体のマルチベイに取り付けられているオプティカル ドライブ、別売の外付けマルチベイに取り付けられているオプティカル ドライブ、およびマルチベイ内蔵の別売のアドバンスト ポート リプリケータに接続されているオプティカル ドライブに対応しています。

再生中のメディアの保護



注意: アプリケーションが一時停止したり再生が停止したりするおそれがあるため、マルチメディア アプリケーションの実行中にデバイスの取り付けまたは取り外しを行わないでください。



注意: ビデオの劣化およびオーディオやビデオの再生機能の損失を防ぐため、ドライブ メディアの使用中にスタンバイまたはハイバネーションを起動しないでください。

オーディオまたはビデオ ディスクの使用中に、誤ってハイバネーションまたはスタンバイを起動した場合、次のことが発生します。

- 再生が中断される場合があります。
- [コンピュータが休止またはスタンバイ状態になると、再生は停止します。再生を再開するには、[再生]をクリックします。コンテンツは最初から再生されます。続行しますか?]という警告メッセージが表示される場合があります。[いいえ]を選択します。

電源ボタンを押して、ハイバネーションまたはスタンバイから復帰します。オーディオまたはビデオが自動的に再開されるか、メディアを再生しなおす必要があります。

著作権に関する警告について

コンピュータ プログラム、フィルム、放送内容、録音内容などの著作権により保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法違反です。このノートブック コンピュータをそのような目的に使用しないでください。

Windows Media PlayerでのオーディオおよびビデオCDの再生

Windows Media Playerアプリケーションは、Windowsオペレーティングシステムにインストールされているプログラムの1つです。

CDの再生

CDを再生するには、以下の手順で操作します。

1. CD ドライブがノートブック コンピュータに取り付けられていない場合は、別売の外付けマルチベイに取り付けられているオプティカル ドライブ、またはマルチベイ内蔵の別売のアドバンスト ポートリピリケータに接続されているオプティカル ドライブに、CDを挿入します。
2. オプティカル ドライブのあるデバイスにノートブック コンピュータを接続します。
 - 自動実行機能が有効な場合は、Windows Media Playerが起動します。手順3に進みます。
 - Windows Media Playerが起動しない場合は、以下の手順で操作します。
 - ◆ Windows 2000をお使いの場合 : [スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[エンターテイメント]→[Windows Media Player]の順に選択します。
 - ◆ Windows XPをお使いの場合 : [スタート]→[すべてのプログラム]→[Windows Media Player]の順に選択します。
3. CDを再生するには[再生]ボタンをクリックします。

Windows Media Playerのヘルプへのアクセス

Windows Media Playerのヘルプにアクセスするには、以下の手順で操作します。

1. タスクバーの[Windows Media Player]アイコンをクリックするか、以下の手順で操作します。
 - Windows 2000をお使いの場合 : [スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[エンターテイメント]→[Windows Media Player]の順に選択します。
 - Windows XPをお使いの場合 : [スタート]→[すべてのプログラム]→[Windows Media Player]の順に選択します。
2. Windows Media Playerのメニューバーの[ヘルプ]を選択します。

Intervideo WinDVDによるビデオCDとDVDの再生

InterVideo WinDVDは、ビデオCDやDVDの動画を再生するアプリケーションです。WinDVDは、ノートブック コンピュータにプリロードされていますが、インストールされていません。

WinDVDのインストール

DVDを挿入する前に、[Software Setup]ユーティリティからWinDVDをインストールしておくことをお勧めします。



お使いのノートブック コンピュータにオプティカル ドライブ(内蔵されているか、またはマルチベイか別売のアドバンスト ポートリブリケータを使用して接続されたもの)が装備されていないと、このアプリケーションは正しくインストールされません。さらに、オプティカル ドライブはDVD-R機能を備えている必要があります。

WinDVDをインストールするには、以下の手順で[Software Setup]ユーティリティを起動します。

- Windows 2000をお使いの場合 : [スタート]→[プログラム]→[Software Setup]の順に選択します。
- Windows XPをお使いの場合 : [スタート]→[すべてのプログラム]→[Software Setup]の順に選択します。

セットアップ ウィザードがロードされ、利用できるアプリケーションの一覧が表示されます。[WinDVD]を選択し、画面の指示に従って操作します。



一部のDVDには、PCFriendlyなどの他社製のDVDプレーヤが含まれています。WinDVDをインストールする前に非HP製のプレーヤプログラムが含まれているDVDを挿入すると、WinDVDではなく非HP製のプレーヤプログラムをインストールするように指示されます。WinDVDをインストールしたい場合は、非HP製のプレーヤのインストールを中止し、インストールのウィンドウを閉じます。

自動実行機能が有効な場合にWinDVD アプリケーションを起動するには、以下の手順で操作します。

- Windows 2000をお使いの場合 : [スタート]→[プログラム]→[InterVideo WinDVD]→[InterVideo WinDVD]の順に選択します。
- Windows XPをお使いの場合 : [スタート]→[すべてのプログラム]→[InterVideo WinDVD]→[InterVideo WinDVD]の順に選択します。

WinDVDの使用について詳しくは、WinDVDのメニューバーの[ヘルプ]を選択してください。

ビデオCDとDVDの再生

WinDVD Playerのヘルプ ファイルの説明の他に、次の情報が役立つことがあります。

- システムに別売のアドバンスト ポート リブリケータが装着されている場合は、(DVDの再生中ではなく) DVDを再生する前にノートブック コンピュータを接続または取り外します。
- 最高の再生品質を得るには、ファイルを保存し、開いているすべてのアプリケーションを閉じてから、DVDを再生します。
- DVDから[このコンテンツの再生は、この地域 (リージョン コード) では許可されません。]というエラーメッセージが表示される場合は、次の項目の説明に従って地域の設定を変更し、DVDを再起動します。



DVDの挿入後、自動実行機能によってDVDおよびWinDVD Playerが起動される前に短い間隔が空きますが、これは通常の動作です。

DVDの地域設定の変更

著作権で保護されたファイルが含まれているほとんどのDVDには、地域コードも含まれています。地域コードは、世界的なレベルで著作権を保護します。

DVDの地域コードが、お使いのDVD ドライブの地域設定と一致する場合にのみ、その地域コードが含まれているDVDを再生できます。

DVDの地域コードがお使いのドライブの地域設定と一致しない場合は、そのDVDをドライブに挿入すると[このコンテンツの再生は、この地域(リージョン コード)では許可されていません。]というメッセージが表示されます。このDVDを再生するには、お使いのDVD ドライブの地域設定を変更する必要があります。



注意：DVD ドライブの地域設定は、5回まで変更できます。

- 5回目に選択した地域設定が、DVD ドライブの永続的な地域設定になります。
- ドライブで地域設定を変更できる残りの回数が、[地域確認] ウィンドウの[この変更前に確定するまで、残りの変更が許可されます。] フィールドに表示されます。このフィールドの数には、5回目の永続的な変更が含まれます。

ドライブ メディアの地域設定を変更するには、以下の手順で操作します。

1. 以下のどれかを実行して、WinDVDを起動します。
 - デスクトップ画面の[InterVideo WinDVD]アイコンをダブルクリックします。
 - Windows 2000をお使いの場合：[スタート]→[プログラム]→[InterVideo WinDVD]→[InterVideo WinDVD]の順に選択します。
 - Windows XPをお使いの場合：[スタート]→[すべてのプログラム]→[InterVideo WinDVD]→[InterVideo WinDVD]の順に選択します。

2. WinDVD Playerのウィンドウを右クリックします。
3. [セットアップ]を選択します。
4. 地域のボタンを選択します。
5. [OK]を選択します。

Roxio Easy CD & DVD Creator 6でのCDの作成

Roxio Easy CD & DVD Creator 6は、オプティカル ドライブ メディアの作成または複製を可能にする転送ユーティリティです。CDを作成できるようになるには、ノートブック コンピュータに付属のインストールCDを使用してこのアプリケーションをインストールする必要があります。



お使いのオプティカル ドライブがDVD-RW 機能を搭載している場合、Easy CD & DVD Creator 6を使用してDVDに大量のデータを保存できます。動画を含むDVDを作成するには、この章の「[InterVideo WinDVD Creatorを使用したDVDの作成](#)」を参照してください。

お使いのノートブック コンピュータ モデルにEasy CD & DVD Creatorをインストールすると、[Roxio Easy CD & DVD Creator 6]アイコンが以下の場所に表示されます。

- Windows 2000をお使いの場合 : [スタート]→[プログラム]→[Roxio Easy CD and DVD Creator 6]の順に選択すると表示されます。
- Windows XPをお使いの場合 : [スタート]→[すべてのプログラム]→[Roxio Easy CD and DVD Creator 6]の順に選択すると表示されます。

Easy CD & DVD Creator 6の機能の概要

Easy CD & DVD Creator 6には、以下の4つのアプリケーションが含まれています。

アプリケーション	機能
Disc Copier	個人で作成したディスクのバックアップ コピーを作成します
Creator Classic	CDのバックアップやファイルのアーカイブをハード ドライブに作成します
Drag-to-Disc	ファイルをCDやDVDに「ドラッグ アンド ドロップ」することで、フロッピーディスクのように自動的にデータを記録します。Drag-to-Discでは、オーディオ ファイルのコピーおよび記録はできません
Roxio Label Creator	ディスク用のラベルを作成します



Roxio Easy CD & DVD Creator 6のオンラインの『ユーザーズ ガイド』に記載されているその他のアプリケーションは、このノートブック コンピュータ モデルの購入時には含まれていません。

これらのアプリケーションには、[スタート]メニューまたは[Home]ウィンドウからアクセスできます。[Home]ウィンドウを開くには、以下の手順で操作します。

- Windows 2000をお使いの場合 : [スタート]→[プログラム]→[Roxio Easy CD and DVD Creator 6]→[Home]の順に選択します。
- Windows XPをお使いの場合 : [スタート]→[すべてのプログラム]→[Roxio Easy CD and DVD Creator 6]→[Home]の順に選択します。



Easy CD & DVD Creator 6のアプリケーション、機能、または使用方法について詳しくは、Roxio Easy CD & DVD Creator 6のオンラインの『ユーザーズ ガイド』を参照してください。このガイドにアクセスするには、以下の手順で操作します。

- Windows 2000をお使いの場合 : [スタート]→[プログラム]→[Roxio Easy CD and DVD Creator 6]→[ユーザーズ ガイド]の順に選択します。
- Windows XPをお使いの場合 : [スタート]→[すべてのプログラム]→[Roxio Easy CD and DVD Creator 6]→[ユーザーズ ガイド]の順に選択します。

Easy CD & DVD Creator 6を使用する前に



注意 : ファイルの損失およびCDやDVDの損傷を防ぐため、次の注意事項を必ず守ってください。

- CDに書き込む前に、ノートブック コンピュータを安定した外部電源に接続します。コンピュータがバッテリ電源で動作しているときは、CDに書き込まないでください。
- CDに書き込む前に、Easy CD & DVD Creator 6以外の開いているすべてのアプリケーション（スクリーン セーバやアンチウィルス ソフトウェアなど）を閉じます。
- 1つのCDから別のCDへ、またはネットワーク ドライブからCDへ直接コピーしないでください。CDまたはネットワーク ドライブからハードドライブへコピーしてから、ハードドライブからCDへコピーします。
- CDへの書き込みが行われている間は、ノートブック コンピュータのキーボードから入力したり、コンピュータを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすいためです。

記録メディアの選択

オプティカル ドライブの最高速度に対応する高品質のメディアを使用することをお勧めします。ノートブック コンピュータでは、消去ができない1回限りの記録が可能なCD（CD-R）、または書き換えが可能なCD（CD-RW）へ書き込みまたはコピーできます。



データをCDに書き込むには、フォーマットを確定していない空のCD-RディスクまたはCD-RWディスクを使用してください。Easy CD & DVD Creator 6で使用するメディアの選択について詳しくは、Roxio Easy CD & DVD Creator 6のオンラインの『ユーザーズ ガイド』を参照してください。

UDFプロンプトへの応答

CDを初めてオプティカル ドライブに挿入したときに、Universal Disk Format (UDF) Readerをインストールするように指示される場合があります。

UDF Readerは一部のノートブック コンピュータ モデルにプリインストールされています。UDF Readerがノートブック コンピュータにインストールされている場合、Drag-to-Disc アプリケーションで作成されたCDは、Drag-to-Discがインストールされていないコンピュータ内の互換性のあるオプティカル ドライブで使用できます。ただし、そのCDを取り出す時に[このディスクをすべてのCD/DVD-ROM ドライブで読み出せるようにします。このオプションを選択して取り出す場合は若干時間がかかります。]オプションを選択した場合に限ります。

記録メディアのフォーマット

Drag-to-Discを使用してデータをディスクに記録する場合は、Drag-to-Discを使用できるようにフォーマットされたCDを使用します。Drag-to-Discでは、空のディスクは自動的にフォーマットされます。



Drag-to-Discでのディスクのフォーマットは、完了するまでに最長で45分程度かかります。

Creator Classic または Disc Copier を使用してデータをディスクに記録する場合は、Drag-to-Disc用にフォーマットされたCDを使用したり、書き換え可能なディスク上のデータを消去して再利用したりしないでください。

Creator Classic または Disc Copier で使用するために手動でディスクをフォーマットするには、以下の手順で操作します。

1. ディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
2. 以下の手順で、Drag-to-Discを起動します。
 - Windows 2000をお使いの場合 : [スタート]→[プログラム]→[Roxio Easy CD and DVD Creator 6]→[Drag-to-Disc]の順に選択します。
 - Windows XPをお使いの場合 : [スタート]→[すべてのプログラム]→[Roxio Easy CD and DVD Creator 6]→[Drag-to-Disc]の順に選択します。
3. [Drag-to-Disc]メニューを開きます。
4. [ディスクのフォーマット]を選択して、フォーマットの設定を選択します。
 - Drag-to-Disc でのみ使用するディスクをフォーマットするには、[クイック フォーマット]を選択します。
 - 他のアプリケーションで使用するディスクをフォーマットするには、[通常フォーマット]を選択します。
5. [OK]を選択します。

CDの作成

CDの作成について詳しくは、Roxio Easy CD & DVD Creator 6のオンラインの『ユーザーズ ガイド』を参照してください。

Roxio Easy CD & DVD Creator 6での記録メディアの消去



CD-RやDVD-Rディスクからデータを消去することはできません。以下の手順では、CD-RWまたはDVD-RWディスクのみを使用できます。



Drag-to-DiscまたはCreator Classicでの記録メディアの消去は、完了するまでに最長で45分程度かかります。

Drag-to-Discでの記録メディアの消去

Drag-to-Discで作成した記録メディアを消去するには、以下の手順で操作します。

1. CDをオプティカル ドライブに挿入します。
2. 以下の手順で、[Drag-to-Disc] ウィンドウを開きます。
 - Windows 2000をお使いの場合 : [スタート]→[プログラム]→[Roxio Easy CD and DVD Creator 6]→[Drag-to-Disc]の順に選択します。
 - Windows XPをお使いの場合 : [スタート]→[すべてのプログラム]→[Roxio Easy CD and DVD Creator 6]→[Drag-to-Disc]の順に選択します。
3. [Drag-to-Disc]メニューを開きます。
4. [ディスクの消去]を選択します。
5. [OK]を選択します。

Creator Classicでの記録メディアの消去

Creator Classicでフォーマットされたデータを消去するには、以下の手順で操作します。

1. CDをオプティカル ドライブに挿入します。
2. 以下の手順で、[Creator Classic] ウィンドウを開きます。
 - Windows 2000をお使いの場合 : [スタート]→[プログラム]→[Roxio Easy CD and DVD Creator 6]→[Creator Classic]の順に選択します。
 - Windows XPをお使いの場合 : [スタート]→[すべてのプログラム]→[Roxio Easy CD and DVD Creator 6]→[Creator Classic]の順に選択します。
3. [ソースの選択] ウィンドウで、データを消去したいディスクが挿入されているオプティカル ドライブを選択します。
4. Creator Classicのメニューバーで、[Disc]→[ディスクの消去]の順に選択します。

Easy CD & DVD Creator 6の設定値の選択

Drag-to-Disc、Creator Classic、またはDisc Copierを使用するには、次の表に示すデフォルトの設定値を選択する必要があります。これらの設定値は、共存させることができます。たとえば、Drag-to-Discの設定値はDisc Copierの設定値と相反しません。

アプリケーション	必要な設定値
Drag-to-Disc	[自動挿入通知]を有効にします*
Creator Classic	[ディスクアットワنس]を無効にします** および [トラックアットワنس]を有効にします**
Disc Copier	[ディスクアットワنس]を無効にします

*自動挿入通知機能の設定値は、オペレーティング システムを通して選択します。
**[ディスクアットワنس]および[トラックアットワنس]は、CDへの記録を開始すると[ディスク書き込み]ウィンドウに表示される記録方法です。

以下の表に、[ディスクアットワنس]および[トラックアットワنس]の記録方法の説明を示します。

オプション	説明
[トラックアットワنس]	複数のパスでデータをディスクに書き込みます。トラックまたはデータ ファイルをディスクに1つずつコピーできます。記録の終了時にセッションを確定するかどうかをオプションで選択できます
[ディスクアットワنس]	すべてのデータを一度にディスクに書き込み、記録の終了時にセッションとディスクの内容の両方を確定します

[ディスクアットワنس]または[トラックアットワنس]の設定について詳しくは、Roxio Easy CD & DVD Creator 6のオンラインの『ユーザーズガイド』を参照してください。

InterVideo WinDVD Creatorを使用したDVDの作成

InterVideo WinDVD Creatorを使用して動画を作成および編集し、DVDに記録することができます。DVDを作成できるようにするには、一部のノートブック コンピュータに付属のインストールCDを使用してこのアプリケーションをインストールする必要があります。お使いのコンピュータにオプティカル ドライブ（内蔵されているか、またはマルチベイか別売のアドバンスト ポートリプリケータを使用して接続されたもの）が装備されていないと、このアプリケーションは正しくインストールされません。さらに、オプティカル ドライブはDVD-RW機能を備えている必要があります。

InterVideo WinDVD Creatorを使用する前に



注意：ファイルの損失およびDVDの損傷を防ぐため、次の注意事項を必ず守ってください。

- DVDに書き込む前に、ノートブック コンピュータを安定した外部電源に接続します。コンピュータがバッテリ電源で動作しているときは、DVDに書き込まないでください。
- DVDに書き込む前に、InterVideo WinDVD Creator以外の開いているすべてのアプリケーション（スクリーン セーバやアンチウィルス ソフトウェアなど）を閉じます。
- 1つのDVDから別のDVDへ、またはネットワーク ドライブからDVD へ直接コピーしないでください。DVDまたはネットワーク ドライブからハードドライブへコピーしてから、ハードドライブからDVD へコピーします。
- DVDへの書き込みが行われている間は、ノートブック コンピュータのキーボードから入力したり、コンピュータを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすいためです。

記録メディアの選択

オプティカル ドライブの最高速度に対応する高品質のメディアを使用することをお勧めします。ノートブック コンピュータでは、消去ができない1回限りの記録が可能なDVD（DVD-R）、または書き換えが可能なDVD（DVD-RW）へ書き込みまたはコピーできます。



データをDVDに書き込むには、フォーマットを確定していない空のDVD-RディスクまたはDVD-RWディスクを使用してください。WinDVD Creatorで使用するメディアの選択について詳しくは、WinDVD Creatorのメニューバーにある[ヘルプ]を選択してください。

DVDの作成

InterVideo WinDVD Creatorを起動するには、以下の手順で操作します。

- Windows 2000をお使いの場合 : [スタート]→[プログラム]→[InterVideo WinDVD Creator]→[InterVideo WinDVD Creator]の順に選択します。
- Windows XPをお使いの場合 : [スタート]→[すべてのプログラム]→[InterVideo WinDVD Creator]→[InterVideo WinDVD Creator]の順に選択します。

DVDの作成方法については、WinDVD Creatorのメニューバーにある[ヘルプ]を選択してください。

インテリジェント マネジメント機能

HPのインテリジェント マネジメント機能は、ネットワーク環境にあるデスクトップ、ワークステーション、およびノートブック コンピュータの管理の分野で、標準のソリューションを提供しています。

クライアント マネジメントの主要な機能と特長は以下のとおりです。

- 出荷時のソフトウェア イメージの展開
- リモート システム ソフトウェア インストール
- ソフトウェア マネジメントおよびアップデート機能
- ROMの更新
- コンピュータの資産情報の管理機能およびセキュリティ機能（コンピュータの資産とは、取り付けられているハードウェアやインストールされているソフトウェアのことです）
- 一部のシステム ソフトウェアおよびハードウェア コンポーネントの障害通知および復旧機能



この章で説明される機能のサポートは、ノートブック コンピュータ モデルまたはインストールされているマネジメント ソフトウェアのバージョンにより異なることがあります。

出荷時設定の変更

HPのコンピュータには、システム ソフトウェア イメージがプリインストールされています。出荷時のソフトウェア イメージは、コンピュータの初期設定を行うときに設定されます。ソフトウェアの設定手順を簡単に済ませると、すぐにコンピュータを使用できます。

以下の方法で、カスタマイズされたソフトウェア イメージを展開できます。

- プリインストールされたソフトウェアを展開した後、追加するアプリケーションをインストールする。
- Altiris Deployment Solutionsなどのソフトウェアの導入用ツールを使用して、プリインストール ソフトウェアの代わりにカスタマイズされたソフトウェア イメージを使用する。
- ディスク複製手順を使用して、ハードドライブの内容を別のハードディスクにコピーする。

最適なコンピュータ環境の構築方法は、所属する企業の情報技術内容や作業内容によって異なります。所属する企業に最適なコンピュータ環境の構築方法について詳しくは、HPのWebサイト、<http://www.hp.com/go/solutions>（英語サイト）を参照してください。



システム リカバリ CD、[Computer Setup]ユーティリティ、およびその他のシステム機能により、システム ソフトウェアのリストア、コンフィギュレーションマネジメント機能、トラブルシューティング、および省電力機能を利用することができます。

ソフトウェアの管理とアップデート

HPでは、クライアントPCのソフトウェアを管理し、アップデートするためのツール（Altiris eXpressのソリューションであるHP Client Manager Software、Altiris PC Transplant Pro、およびSystem Software Manager）を提供しています。

HP Client Manager Software

HP Client Manager Software（HP CMS）はAltirisソフトウェア内でHPのインテリジェントマネジメント機能を統合します。HP CMSは、HPのデバイスに以下のような優れたハードウェア管理機能を提供します。

- 資産管理用のハードウェア インベントリの詳細表示
- コンピュータの状態検査の監視および診断
- マシン温度についての警告、メモリ異常の警告など、企業活動における重大な状況についての、Webサイトを利用した報告
- システム ソフトウェア（デバイス ドライバやROM BIOSなど）のリモート アップデート



HP CMSを別売のAltiris Solutionsソフトウェアとともに使用すると、機能を追加できます。詳しくは、この章の「[Altiris Solutions](#)」を参照してください。

HP Client Managerについて詳しくは、HPのWebサイト、<http://www.hp.com/go/easydeploy>（英語サイト）を参照してください。

Altiris Solutions

クライアント コンピュータにインストールされているHP Client Manager Software を、管理用コンピュータにインストールされている Altiris Solutionソフトウェアとともに使用すると、HP CMSから提供される管理機能が向上します。HP Client Managerでは、HPクライアントデバイスのハードウェアの中央管理機能が、以下のITライフサイクル分野に提供されます。

■ 資産管理

- ソフトウェア ライセンスの準拠
- コンピュータの管理および報告
- コンピュータのリース契約情報および固定資産の管理

■ システム ソフトウェアの展開と移行

- Windows 2000/XPへの移行
- システムの展開
- 個人設定の移行

■ ヘルプデスクと問題解決

- ヘルプデスク チケットの管理
- リモートでのトラブルシューティング
- リモートでの問題解決
- クライアントでの問題修復

■ ソフトウェアおよび操作の管理

- クライアント管理の実行
- HPシステム ソフトウェアの展開
- アプリケーションの自己修復（アプリケーションの一部の問題を検出し、修復する機能）

Altiris Solutions ソフトウェアには、使いやすいソフトウェア配布機能も含まれています。一部のデスクトップおよびノートブック コンピュータには、プリロード ソフトウェアの1つとしてAltirisマネジメント エージェントが含まれています。このエージェントにより Altiris Solutions ソフトウェアとの通信が可能になります。Altiris Solutions ソフトウェアを使用すると、簡単なウィザードに従って、新しいハードウェアの展開や新しいオペレーティング システムへの個人設定の移行を完了することができます。

Altiris Solutions ソフトウェアを System Software Manager または HP Client Manager と組み合わせて使用すると、管理者は ROM BIOS とデバイス ドライバのソフトウェアを中央管理コンソールからアップデートすることもできます。

詳しくは、HPのWebサイト、<http://www.hp.com/go/easydeploy>（英語サイト）を参照してください。

Altiris PC Transplant Pro

Altiris PC Transplant Proを使用すると、既存の設定、ユーザ設定、およびデータを保存し、新しい環境に迅速かつ簡単に移行することができます。

詳しくは、HPのWebサイト、<http://www.hp.com/go/easydeploy>（英語サイト）を参照してください。

System Software Manager

System Software Manager (SSM) を使用すると、複数のシステムにおいてシステム レベルのソフトウェアをリモートで同時に更新できます。クライアント コンピュータで SSM を実行すると、SSM はハードウェアとソフトウェアのバージョンを検出し、検証済みのファイル サーバから適切なソフトウェアを更新します。SSM でサポートされるドライバのバージョンは、HP のドライバのダウンロードサイトおよびサポートソフトウェア CD に、独自のアイコンで示されています。ユーティリティのダウンロードまたは SSM について詳しくは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/go/ssm> (英語サイト) を参照してください。

6

マルチブート

ブート可能なメディアまたはNIC（ネットワーク インタフェース カード）には、ノートブック コンピュータの正常な起動および動作に必要なファイルが収められています。マルチブートユーティリティ（デフォルトで無効に設定されています）を使用すると、デバイスを識別したり、コンピュータの起動時にそのデバイスからブートする順序を制御したりできます。

ブート可能なデバイスには、CDやDVDなどのオプティカル ドライブディスク、ブート可能なフロッピーディスク、NICなどがあります。



USBデバイスやNICなど一部のデバイスは、ブート シーケンスに含める前に[Computer Setup]で有効に設定しておく必要があります。詳しくは、この章の「[Computer Setup]でのブート可能なデバイスの有効化」を参照してください。

デフォルトのブート シーケンスの概要

デフォルトでは、システムにブート可能なデバイスが複数ある場合、ノートブック コンピュータは、有効なデバイスとその場所を特定の順番で検索することによって、起動デバイスを選択します。

ブートのたびに、まずブート可能なA ドライブのデバイスが検索されます。検出されない場合は、ブート可能なC ドライブのデバイスが検索されます。A ドライブのデバイスには、オプティカル ドライブやフロッピーディスク ドライブが含まれます。C ドライブのデバイスには、オプティカル ドライブやメインハードドライブが含まれます。

メイン ハードドライブはC ドライブとしてのみブート可能です。NICにはドライブ名が割り当てられていません。



オプティカル ドライブデバイス (CD-ROMなど) はCDの形式により、A ドライブまたはC ドライブとしてブートできます。ほとんどのブート可能なCDは、A ドライブとしてブートします。CDがC ドライブとしてブートする場合は、CDより先にフロッピーディスク ドライブがブートします。

デフォルトでは、ノートブック コンピュータは、有効なデバイスまたは場所を特定の順番で検索することによって、起動デバイスを選択します。

マルチブートを有効にして新しいブート シーケンス（「ブート順序」とも呼ばれます）を入力すれば、ブートするメディアまたはデバイスの検索順序を変更することができます。また、MultiBoot Expressを使用すれば、ノートブック コンピュータを起動または再起動するたびにブート場所を確認する画面が表示されるように設定することもできます。

以下に、デフォルトでドライブ番号が割り当てられる順序の一覧を示します。実際のブート シーケンスは、コンフィギュレーションによって異なります。

- A ドライブとしてブートするデバイスのデフォルトのブート シーケンスは次のとおりです。
 1. A ドライブとして起動するディスクが挿入された、ポートリプリケータのマルチベイ内または外付けマルチベイ内のオプティカル ドライブ
 2. ポートリプリケータのマルチベイ内または外付けマルチベイ内のフロッピーディスク ドライブ
- C ドライブとしてブートするデバイスのデフォルトのブート シーケンスは次のとおりです。
 1. C ドライブとして起動するディスクが挿入された、内蔵オプティカル ドライブ、またはポートリプリケータのマルチベイ内または外付けマルチベイ内のオプティカル ドライブ
 2. ノートブック コンピュータ本体のハードドライブ ベイ内のハード ドライブ
 3. ポートリプリケータのマルチベイ内または外付けマルチベイ内のハード ドライブ



NICにはドライブ名が関連付けられていないため、NICのブート順序を変更しても他のデバイスのドライブ名には影響しません。

[Computer Setup]でのブート可能なデバイスの有効化

デバイスがマルチブートに含まれるように指定されている場合にのみ、USBデバイスまたはNICからノートブック コンピュータを起動できます。

デバイスまたは場所をマルチブートに含めるには、以下の手順で操作します。

1. [Computer Setup]を起動するには、ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動し、画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
2. 矢印キーを使用して、有効に設定するデバイスのメニュー オプションを選択します。
 - USB ドライブ内またはポート リプリケータに取り付けられたドライブ内のブート可能なメディアを有効にするには、矢印キーを使用して[Advanced]（詳細設定）メニュー→[Device Options]（デバイス オプション）の順に選択します。[Device Options] フィールドで、[USB legacy support]（USB レガシー サポート機能）を[Enable]（有効）に設定します。
 - NICを有効にするには、矢印キーを使用して[Security]（セキュリティ 設定）メニュー→[Device Security]（デバイス セキュリティ）の順に選択して、[Internal Network adapter boot]（内蔵 ネットワーク アダプタ ブート）を[Enable]（有効）に設定します。
3. 設定を保存して[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して[File]（ファイル）→[Save Changes and Exit]（変更を保存して終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブック コンピュータの再起動時に有効になります。



マルチブートを使用せずに起動時にPXE (Preboot eXecution Environment) サーバまたはRPL (Remote Program Load) サーバにNICを接続するには、画面の右下隅に[Network Service Boot] (ネットワーク サービス ブート) メッセージが表示されている間に、すばやく[f12]キーを押します。

マルチブートの結果の概要

ブート順序を変更する際には、以下の点を考慮してください。

- ブート順序を変更した後にノートブック コンピュータを再起動すると、起動デバイスの検索時に同じ種類の最初のドライブのみが検索されます。
たとえば、ノートブック コンピュータに接続されているポートリプリケータにオプティカル ドライブとフロッピーディスク ドライブがある場合、デフォルトのブートシーケンスではオプティカル ドライブがフロッピーディスク ドライブより先にブートされます。ディスクが挿入されていなかったり、ブート可能でないためにオプティカル ドライブからブートされない場合は、フロッピーディスク ドライブではなく、システムに存在する最初のハードドライブ デバイスのブートが試されます。
- ブート順序を変更すると、論理ドライブ名も変更されます。たとえば、C ドライブとしてブートするディスクが挿入されたCD-ROM ドライブから起動する場合、このCD-ROM ドライブがC ドライブになります、ハードドライブ ベイ内のハードドライブがD ドライブになります。
- NICから起動しても、論理ドライブの指定には影響しません。NICにドライブ名が関連付けられていないためです。
- 別売のポートリプリケータ内のドライブのブートシーケンスは、外付けUSBデバイスのブートシーケンスと同様に扱われ、[Computer Setup]で有効にする必要があります。

マルチブート設定の指定

マルチブートの順序を設定する方法には、次の2種類があります。

- ノートブック コンピュータを起動するたびに使用されるデフォルトのブート シーケンスを新しく設定する
- MultiBoot Expressを使って可変ブート シーケンスを使用する
この機能により、ノートブック コンピュータの起動または再起動のたびに起動デバイスの確認メッセージが表示されます。

新しいデフォルトのブート シーケンスの設定

起動または再起動するたびに使用されるブート シーケンスを[Computer Setup]で設定するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
2. 矢印キーを使用して、[Advanced] (詳細設定) → [Boot Options] (ブート オプション) の順に選択し、[enter]キーを押します。
3. [MultiBoot] (マルチブート) フィールドを有効にします。
4. [Boot Order] (ブート順序) フィールドで、ブート シーケンスを変更します。
5. 設定を保存して[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して[File] (ファイル) → [Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブック コンピュータの再起動時に有効になります。

MultiBoot Express画面の設定

起動または再起動するたびにマルチブートの起動場所を指定するメニューが表示されるように[Computer Setup]で設定するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
2. 矢印キーを使用して、[Advanced] (詳細設定) → [Boot Options] (ブートオプション) の順に選択し、[enter]キーを押します。
3. [Express Boot Popup Delay (Sec)] (高速ブート ポップアップ 遅延(秒)) フィールドで、ノートブック コンピュータが起動場所の選択メニューを表示する時間を秒単位で選択します。この秒数を超えると、マルチブートの現在の設定値がデフォルトとして使用されます(0を選択すると、Express Bootの起動場所の選択メニューは表示されません)。
4. 設定を保存して[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して[File] (ファイル) → [Save Changes and Exit] (変更を保存して終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると新しい設定が保存され、ノートブック コンピュータの再起動時に変更が有効になります。

MultiBoot Express設定の入力

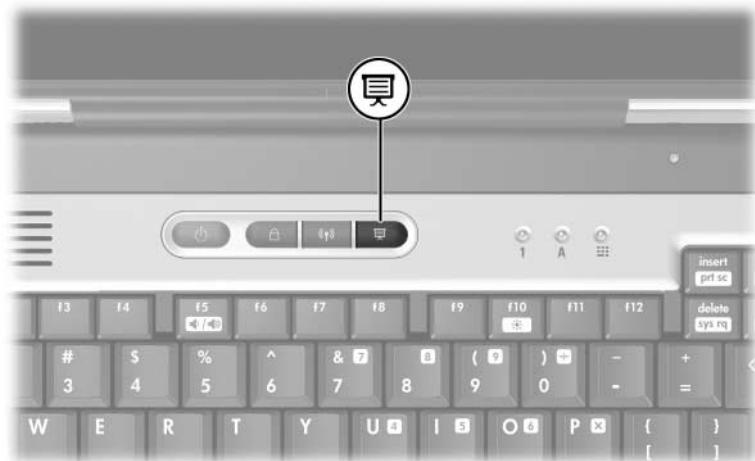
起動時に[Express Boot]（高速ブート）メニューが表示された場合は、次の操作を行います。

- [Express Boot]メニューから起動場所を指定する場合は、指定時間内に希望の場所を選択し、[enter]キーを押します。
- 現在のマルチブートの設定値をデフォルトとして起動しないようにする場合は、指定時間内に任意のキーを押します。起動場所を選択して[enter]キーを押すまで、ノートブック コンピュータは起動されません。
- 現在のマルチブートの設定値に従ってノートブック コンピュータが起動するようにする場合は、指定時間が過ぎるまで待ちます。

プレゼンテーション モード

プレゼンテーション モード ボタンは、唯一ユーザによるプログラムが可能なQuick Launch Button（クイック ローンチ ボタン）です。残りのQuick Launch Buttons（QuickLockおよび無線オン/オフ）は出荷時にプログラムされており、ユーザがボタンを設定することはできません。

Quick Launch Buttonsのプレゼンテーション モード ボタンを使用すると、プレゼンテーション モードのオンとオフが切り替わります。プレゼンテーション モードをオンにすると、指定したアプリケーション、フォルダ、ファイル、またはWebサイトが起動または表示されます。画像は、ノートブック コンピュータの画面と、背面の外付けモニタ コネクタかSビデオアウト コネクタに接続された外付けデバイス、または別売のポートリプリケータに接続された外付けデバイスに同時に表示されます。Quick Launch Buttonsについて詳しくは、Documentation Library CDに収録されている『ハードウェア ガイド』の「ポインティング デバイスとキーボード」を参照してください。



プレゼンテーション モードの設定は、Quick Launch Buttons ソフトウェアを使用して変更することができます。Quick Launch Buttons ソフトウェアは、ノートブック コンピュータのキーボードおよび外付けキーボードの Quick Launch Buttons とホットキーをサポートします。外付けキーボードは、コンピュータのUSBコネクタまたは別売のポートリプリケータに接続することができます。

Quick Launch Buttons ソフトウェアの起動

プレゼンテーション モード ボタンを初めて押したときに、[ようと]ダイアログ ボックスが開きます。このダイアログ ボックスで、プレゼンテーション モード ボタンを押したときに自動的に項目が開き、ビデオや電源の設定が最適な状態に調整されるようにプログラムできます。また、プレゼンテーション モード ボタンを押すたびに[ようと]ダイアログ ボックスを開くかどうかを、このダイアログ ボックスで制御できます。

[ようとそ]ダイアログ ボックスで[今後このダイアログ ボックスを表示しない]チェック ボックスをオンにした場合、設定を変更するにはQuick Launch Buttons ソフトウェアを起動する必要があります。Quick Launch Buttons ソフトウェアを起動するには、以下の手順で操作します。

- Windows 2000をお使いの場合 : [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[Quick Launch Buttons]の順に選択します。
- Windows XPをお使いの場合 : [スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[Quick Launch Buttons]の順に選択します。

Quick Launch Buttons ソフトウェアは、タスクバーまたはデスクトップのアイコンを使用して起動することもできます。アイコンをシステム トレイまたはデスクトップに追加するには、Quick Launch Buttons ソフトウェアを起動して[詳細設定]タブを選択し、[タスクバーにアイコンを表示]の隣にチェック マークを入れます。アイコンをダブルクリックすると、Quick Launch Buttons ソフトウェアを起動できます。アイコンを左クリックすると現在の設定を変更でき、右クリックすると以下のようなメニュー項目が表示されます。

- [Quick Launch Buttonsのプロパティの調整]: Quick Launch Buttons ソフトウェアを起動します。
- [アイコンを隠す]: システム トレイからアイコンを削除します。

デスクトップにQuick Launch Buttons ソフトウェアへのショートカットを作成するには、[デスクトップにアイコンを表示]の隣にチェック マークを入れます。Quick Launch Buttons ソフトウェアをデスクトップから起動するには、ショートカットをダブルクリックします。

プレゼンテーション モードの設定の変更

[割り当て] フィールドでは、プレゼンテーションモード ボタンを押したときに起動または表示するファイル、アプリケーション、Web サイト、またはフォルダを指定できます。[参照] ボタンをクリックして項目を参照するか、[割り当て] フィールドの下向き矢印をクリックして最近プログラムされた項目を表示します。

[ビデオ モード] フィールドおよび[電源スキーム] フィールドでは、プレゼンテーションモードでのビデオや電源のプロパティを制御できます。ビデオ モードを指定するには、下向き矢印をクリックします。デフォルトのビデオ設定は 800 × 600、32 ビット、60 Hz です。電源オプションのプロファイルを選択するには、下向き矢印をクリックします。[電源スキーム] フィールドの隣の[電源のプロパティの調整] ボタンをクリックすると Windows の[電源オプション] が起動し、電源設定を表示したり変更したりすることができます。

プレゼンテーション モードの使用

プレゼンテーション モードを使用するには、Quick Launch Buttonsのプレゼンテーション モード ボタンを押します。プレゼンテーション モードがオンになっているときに次の操作を行うとオフになります。

- 再度プレゼンテーション モード ボタンを押す
- ユーザ アカウントからログオフする
- ノートブック コンピュータの電源を切る

プレゼンテーション モードがオンのときにユーザまたはシステムによってスタンバイが起動された場合、プレゼンテーション モードはオンのままになります。ディスプレイおよび電源の設定は維持されますが、使用しているアプリケーションによっては、ファイルやアプリケーションを再び開く必要があります。



注意：プレゼンテーション モードがオンでCD、CD-RW、またはDVDを使用しているときにスタンバイを起動した場合、再生が中断されることがあります。ビデオの劣化およびオーディオやビデオの再生機能の損失を防ぐため、ドライブ メディアを再生しているときにスタンバイを起動しないでください。

アプリケーションまたはオプティカル ドライブの再生機能について詳しくは、製品に付属のマニュアルを参照してください。

[Computer Setup]

[Computer Setup]の使用

[Computer Setup]は、プリインストールされたROMベースのユーティリティで、オペレーティングシステムが動作しない場合やロードしない場合にも使用できます。オペレーティングシステムが動作している場合は、[Computer Setup]を終了すると、オペレーティングシステムが再起動されます。



[Computer Setup]ではポインティングデバイスを使用できません。項目間を移動したり項目を選択したりするには、キーボードを使用してください。



[Computer Setup]では、USBレガシー サポート機能が有効な場合にのみUSB接続された外付けキーボードを使用できます。USBについて詳しくは、Documentation Library CDに収録されている『ハードウェアガイド』の「外付けデバイス」の章を参照してください。

この章の後の方にあるメニューの表に、[Computer Setup]のオプションの概要を示しています。

[Computer Setup]へのアクセス

[Computer Setup]の情報および設定は、[File]（ファイル）、[Security]（セキュリティ）、[Tools]（ツール）、[Advanced]（詳細設定）の4つのメニューからアクセスできます。

1. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
 - [Computer Setup]の初期メニューに戻るには、[esc]キーを押します。
2. [File]、[Security]、[Tools]、または[Advanced]メニューを選択します。
3. 次のどちらかの方法で[Computer Setup]を終了します。
 - 設定を保存せずに終了するには、矢印キーを使用して[File]（ファイル）→[Ignore Changes and Exit]（設定を変更せずに終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。
 - 入力した設定を保存してから終了するには、矢印キーを使用して[File]→[Save Changes and Exit]（設定を保存して終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

[Computer Setup]を終了すると選択した値が設定され、ノートブック コンピュータの再起動時に有効になります。

[Computer Setup]のデフォルトの復元

[Computer Setup]のすべての設定を工場出荷時の設定に戻すには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。

2. 矢印キーを使用して、[File]→[Restore default]（デフォルトに設定）の順に選択します。
3. [Restore Defaults]（デフォルト設定）を選択します。
4. 復元を確定するには、[f10]キーを押します。
5. [File]→[Save Changes and Exit]の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

コンピュータを再起動すると、工場出荷時の設定が復元され、ユーザが入力した識別情報は保存されます。

[File]（ファイル）メニューの選択

項目	設定内容
System Information (システム情報)	<ul style="list-style-type: none"> ■ ノートブック コンピュータおよびバッテリパックについての識別情報を表示します ■ プロセッサ、メモリ、キャッシュ サイズ、ビデオのリビジョン、キーボード コントローラ のバージョン、およびシステムROMについての仕様情報を表示します
Save to floppy (フロッピーディスクに保存)	フロッピーディスクにシステム コンフィギュレーション設定を保存します
Restore from floppy (フロッピーディスクから復元)	フロッピーディスクからシステム コンフィギュレーションをリストア（復元）します
Restore defaults (デフォルトに設定)	[Computer Setup]の設定を工場出荷時の設定に戻します（識別情報は失われません）
Ignore changes and exit (設定を変更せずに終了)	今まで行った変更をキャンセルして、[Computer Setup]を終了し、ノートブック コンピュータを再起動します
Save changes and exit (設定を保存して終了)	今まで行った変更を保存し、[Computer Setup]を終了して、ノートブック コンピュータを再起動します。保存した変更は、コンピュータが再起動されると有効になります

[Security] (セキュリティ設定) メニューの選択

選択する項目	設定内容
Administrator password (管理者パスワード)	HP管理者パスワードを入力、変更、または削除します
Power-On password (電源投入時パスワード)	電源投入時パスワード (Power-on password) を入力、変更、または削除します
DriveLock passwords (ドライブロック パスワード)	DriveLock (ドライブロック) を有効/無効にします。ドライブロックのuser password (ユーザ パスワード) またはmaster password (マスタ パスワード) を変更します
	 ノートブック コンピュータを再起動するのではなく、電源を入れて [Computer Setup] を開いた場合にのみ、DriveLockの設定値にアクセスできます
SmartCard password (スマートカード パスワード)	SmartCard password (スマートカード パスワード) を有効/無効にします
	 この機能は一部のスマート カード リーダーでのみサポートされます。このガイドの「セキュリティ」を参照してください
Embedded Security (内蔵セキュリティ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 内蔵セキュリティ チップを有効/無効にします ■ 内蔵セキュリティ チップを出荷時設定に復元します
	 [Embedded Security] の設定には、ノートブック コンピュータにセキュリティ チップが内蔵されている場合にのみアクセスできます
Device security (デバイス セキュリティ)	<ul style="list-style-type: none"> ■ システムのデバイスを有効/無効にします ■ マルチブートに NIC を含める設定を有効にします
System IDs (システムID)	ユーザ定義の識別値を入力します

[Tools] (ツール) メニューの選択

項目	設定内容
HDD Self-Test options (ハードディスク セルフテスト オプション)	システム内の任意のハードドライブに高速自己診断テストを実行します

[Advanced]（詳細設定）メニューの選択

項目	設定内容
Language（言語） (または[F2]キーを押す)	[Computer Setup]ユーティリティの使用言語を変更します
Boot options (ブート オプション)	<ul style="list-style-type: none"> ■ QuickBoot（クイックブート）を有効/無効にします。QuickBootは起動時にいくつかのテストを省略することで、ノートブックコンピュータの起動時間を短縮します（メモリが破損しているおそれがあり、起動時にメモリを自動的にテストしたい場合は、クイックブートを無効にします） ■ MultiBoot（マルチブート）を有効/無効にします。マルチブートはシステム内のブート可能なほとんどのデバイスとメディアの起動順序を設定します。詳しくは、「マルチブート」を参照してください ■ ブート順序を設定します
Device options (デバイス オプション)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 起動時にNumLockモードを有効/無効にします ■ 起動時に複数の標準ポインティング デバイスを有効/無効にします（通常標準ではないポインティング デバイスを、起動時に1つだけ有効にする場合は、[Disable]を選択します） ■ パラレルポートのモードを、EPP（Enhanced Parallel Port）モード、標準モード、双方向モード、またはECP（Enhanced Capabilities Port）モードから選択します

(続く)

Select	To Do This
Device Options (デバイス オプション) (続き)	<ul style="list-style-type: none">■ USB対応キーボード、マウス、およびハブをサポートするUSB レガシー サポート機能を有効/無効にします。このUSB レガシー サポート機能を有効にすると、次のことが可能になります<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> Windowsオペレーティング システムがロードされなくてもUSB対応キーボード、マウス、およびハブを使用できます<input type="checkbox"/> ブート可能なハードドライブ、フロッピーディスク ドライブ内のフロッピーディスク、スーパーディスク ドライブ内のディスク、またはノートブック コンピュータか別売のポート リブリケータにUSB コネクタで接続されたドライブに挿入されているCD-ROM、CD-RW、DVD からコンピュータを起動することができます■ SpeedStep ウィンドウ内のすべての設定値を有効/無効にします（無効に設定した場合は、ノートブック コンピュータがバッテリに合わせたパフォーマンス モードで動作します）■ [fn] キーと左側の [ctrl] キーの機能を入れ替えます■ 外部電源に接続している時に、常にファンをオンにするかどうかを設定します

ソフトウェアの更新とリストア（復元）

ソフトウェアの更新準備

ノートブック コンピュータの性能を最大限に活用するために、またお使いのコンピュータを技術革新に対応させていくためには、常に最新のHP ソフトウェアをインストールしておくことをお勧めします。

HP ソフトウェアを更新するには、以下の手順で操作します。

1. 更新する前に、お使いのノートブック コンピュータの種類、シリーズ名またはファミリ名、およびモデルを確認しておきます（この章の「ノートブック コンピュータ情報へのアクセス」を参照してください）。システムROMを更新する前に、お使いのコンピュータに現在インストールされているROMのバージョンを[Computer Setup] ユーティリティで確認しておきます。
2. HPのWebサイトにある更新情報にアクセスします。
3. 最新ソフトウェアをダウンロードし、インストールします。



ノートブック コンピュータのシステムROMには、BIOSが格納されています。BIOSは、コンピュータのハードウェアがオペレーティングシステムおよび外付けデバイスとやり取りする方法を決定し、日時などのコンピュータのサービスもサポートします。



お使いのノートブック コンピュータをネットワークに接続している場合は、最新のソフトウェアをインストールする前、特にシステムROMを更新する前に、ネットワーク管理者に相談してください。

ノートブック コンピュータ情報へのアクセス

ノートブック コンピュータの更新情報にアクセスするには、以下の情報が必要になります。

- 製品カテゴリは、「ノートブック コンピュータ」です。
- 製品のファミリ名およびシリーズ番号は、ディスプレイ パネルの右下隅に記載されています。
- モデル情報は、ノートブック コンピュータの裏面にあるシリアル番号のラベルに記載されています。

提供されている最新ROMに、お使いのノートブック コンピュータに現在インストールされているROMのバージョンよりも新しいものが含まれているかどうかを確認するには、現在インストールされているシステムROMのバージョンを確認する必要があります。

ROMのバージョン情報は、[Computer Setup]で確認できます。[Computer Setup]の使い方については、「[\[Computer Setup\]](#)」の章を参照してください。

[Computer Setup]でROMの情報を表示するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの電源を入れるか再起動して、[Computer Setup]を起動します。画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
2. [File]（ファイル）→[System Information]（システム情報）の順に選択します。システムROMの情報が表示されます。
3. 設定を保存せずに[Computer Setup]を終了するには、矢印キーを使用して[File]→[Ignore Changes and Exit]（設定を変更せずに終了）の順に選択し、画面の指示に従って操作します。[Computer Setup]が終了すると、ノートブック コンピュータが再起動されます。

インターネットからのソフトウェアのダウンロード

HPのWebサイトでは、ほとんどのソフトウェアを「SoftPaq」という名前の圧縮ファイルで提供しています。一部の最新ROMは、「RomPaq」という名前の圧縮ファイルで提供しています。その他の最新 ROM は、「CPQFlash SoftPaq」として提供しています。

ほとんどのダウンロードパッケージには、Readme.txtという名前のファイルが含まれています。Readme.txtファイルには、ダウンロードについての詳しい説明と、ファイルのインストールおよび問題解決のための情報が記載されています。RomPaqに収録されているReadme.txtファイルは、英語で提供されています。

システムROMのダウンロード



注意：インストールに失敗しないために、ACアダプタを使用して安定した外部電源にノートブックコンピュータを接続しているときのみ、システムROMのダウンロードおよびインストールを行ってください。コンピュータをバッテリ電源で動作させている、別売のポートリプリケータに接続している、または別売の電源に接続しているときには、システムROMのダウンロードおよびインストールを行わないでください。ダウンロードおよびインストール中は、必ず以下の注意事項を守ってください。

- ACコンセントからノートブックコンピュータの電源コードを抜かないでください。
- ノートブックコンピュータの電源を切らないでください。
- ドライブを着脱しないでください。

システムROMをダウンロードしてインストールするには、以下の手順で操作します。

1. お使いのノートブックコンピュータ用のソフトウェアを提供する、HPのWebサイトのページにアクセスします。
2. お使いの製品に合わせて[ノートブックPC]を選択します。
3. 選択した製品のサポートページが表示されたら[ダウンロード]を選択します。
4. ダウンロードのページが表示されたら、お使いの製品の製品ファミリー、機種、オペレーティングシステム等を選択してダウンロード可能な更新ソフトウェアの一覧を表示します。
5. 表示された一覧の中から、現在インストールされているシステムROMより新しいROMのパッケージを、Webページの指示に従ってダウンロードします。
6. ダウンロードが完了したら、Windows エクスプローラを起動し、ダウンロードしたファイルを選択して実行します。
7. 画面の指示に従って操作し、インストールを完了します。



インストールが成功したことを示すメッセージが画面に表示されたら、ダウンロードパッケージを削除できます。

その他のソフトウェアのダウンロード

その他のソフトウェアをダウンロードしてインストールするには、以下の手順で操作します。

1. お使いのノートブック コンピュータ用のソフトウェアを提供する、HPのWebサイトのページにアクセスします。
2. お使いの製品に合わせて[ノートブックPC]を選択します。
3. 選択した製品のサポートページが表示されたら[ダウンロード]を選択します。
4. ダウンロードのページが表示されたら、お使いの製品の製品ファミリ、機種、オペレーティングシステム等を選択してダウンロード可能な更新ソフトウェアの一覧を表示します。
5. 表示された一覧の中から、必要なソフトウェアをWebページの指示に従ってダウンロードします。
6. ダウンロードが完了したら、Windows エクスプローラを起動し、ダウンロードしたファイルを選択して実行します。
7. 画面の指示に従って操作し、インストールを完了します。



インストールが成功したことを示すメッセージが画面に表示されたら、ダウンロードパッケージを削除できます。

システムの復元

ノートブック コンピュータのシステムの復元プロセスには、システムの機能を復元するためのいくつかの方法があります。Driver Recovery CDおよびオペレーティング システムCDを使用すると、個人データを失わずにコンピュータを復元または修復できます。また、オペレーティング システムCDを使用して、コンピュータに付属のオペレーティング システム ソフトウェアを再インストールすることもできます。



最高の結果を得るために、次の操作を順番通りに実行してノートブック コンピュータの機能を最適な状態に復元するようにしてください。

データの保護

ノートブック コンピュータに追加されたソフトウェアまたはデバイスによって、システムが不安定になる場合があります。文書を保護するため、個人ファイルを[マイドキュメント]フォルダに保存し、定期的に[マイドキュメント]のバックアップ コピーを作成するようにしてください。

[システムの復元]ポイントの設定 (Windows XPのみ)

Windows XP オペレーティング システムで動作しているノートブック コンピュータでは、個人設定を変更するたびに、毎日[システムの復元]ポイント（ベンチマーク）が設定されます。さらに、新しいソフトウェアやデバイスを追加したときにも復元ポイントが設定されることがあります。コンピュータが最適なパフォーマンスで機能しているとき、および新しいソフトウェアやデバイスをインストールする前に、システムの復元ポイントを定期的に設定する必要があります。これによって、問題が発生した場合に、以前の構成の復元ポイントまで戻すことができます。

システムの復元ポイントを設定するには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。[作業を選びます]の[ツールを使ってコンピュータ情報を表示し問題を診断する]を選択します。[システムの復元]を選択します。[システムの復元]ウィンドウが開きます。
2. 画面の指示に従って、復元ポイントを設定します。

ノートブック コンピュータを正常に機能していた当時の日時に復元するには、以下の手順で操作します。

1. [スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。[作業を選びます]の[ツールを使ってコンピュータ情報を表示し問題を診断する]を選択します。[システムの復元]を選択します。[システムの復元]ウィンドウが開きます。
2. 画面の指示に従って、ノートブック コンピュータを復元します。

オペレーティング システムの修復

個人データを失わずにオペレーティング システムの修復を実行するには、ノートブック コンピュータに付属のオペレーティング システムCDを使用します。

1. ノートブック コンピュータを外部電源に接続して、コンピュータの電源を入れます。
2. すぐにオペレーティング システムCDをノートブック コンピュータに挿入します。
3. 電源ボタンを5秒間押し続けて、ノートブック コンピュータの電源を切ります。
4. 再び電源ボタンを押し、ノートブック コンピュータを起動します。
5. 画面の指示に従って、任意のキーを押し、CDから起動します。数分後に、[セットアップ]画面が表示されます。
6. [enter]キーを押して先に進みます。[ライセンス契約]画面が表示されます。

7. [f8]キーを押して契約書に同意し、先に進みます。[セットアップ]画面が表示されます。
8. 選択したWindowsインストールを修復するには、[R]キーを押します。修復プロセスが開始されます。このプロセスの実行には1~2時間かかることがあります。プロセスの完了後、Windowsが再起動します。

オペレーティング システムの再インストール

他の復元作業でノートブック コンピュータを正しく修復できなかった場合は、オペレーティング システムを再インストールします。



注意: オペレーティング システムの再インストール中に、個人データやノートブック コンピュータにインストールしたソフトウェアは失われます。データを保護するため、データをバックアップしてからオペレーティング システムを再インストールしてください。ファイルのバックアップの作成について詳しくは、Windowsのオンラインヘルプ ユーティリティを参照してください。

オペレーティング システムを再インストールするには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータを外部電源に接続して、コンピュータの電源を入れます。
2. すぐにオペレーティング システムCDをノートブック コンピュータに挿入します。
3. 電源ボタンを5秒間押し続けて、ノートブック コンピュータの電源を切ります。
4. 再び電源ボタンを押し、ノートブック コンピュータを起動します。
5. 画面の指示に従って、任意のキーを押し、CDから起動します。数分後に、[セットアップ]画面が表示されます。
6. [enter]キーを押して先に進みます。[ライセンス契約]画面が表示されます。

7. [f8]キーを押して契約書に同意し、先に進みます。[セットアップ]画面が表示されます。
8. [esc]キーを押して、修復ではなくオペレーティングシステムの新規インストールを続行します。
9. [enter]キーを押して、オペレーティングシステムをセットアップします。
10. [C]キーを押し、このパーティションを使用してセットアップを続行します。
11. [NTFS ファイル システムを使用してパーティションをフォーマット(クイック)]を選択して、[enter]キーを押します。



注意：このドライブをフォーマットすると、現在のすべてのファイルが削除されます。

12. [F]キーを押して、ドライブをフォーマットします。再インストールのプロセスが開始されます。このプロセスの実行には1~2時間かかることがあります。プロセスの完了後、Windowsが再起動します。



プロダクトキーの入力を求められたら、ノートブックコンピュータの裏面にあるMicrosoft Certificate of Authenticityラベルを参照してください。

デバイス ドライバとその他のソフトウェアの再インストール

オペレーティング システムのインストールプロセスが完了したら、ドライバを再インストールする必要があります。

ノートブック コンピュータに付属のDriver Recovery CDを使用してドライバを再インストールするには、以下の手順で操作します。

1. Windowsを実行している時に、Driver Recovery CDをオプティカル ドライブに挿入します。

自動実行を有効にしていない場合は、[スタート]→[ファイル名を指定して実行]の順に選択します。次に、「**D:\SWSETUP\APPINSTL\SETUP.EXE**」と入力します。Dはオプティカル ドライブを示します。

2. 画面の指示に従って、ドライバをインストールします。

ドライバを再インストールした後、ノートブック コンピュータに追加していたすべてのソフトウェアを再インストールする必要があります。ソフトウェアに付属のインストール手順に従って操作します。

索引

数字

802.11無線LAN

ユーザ ガイド

1-4

B

Bluetoothのユーザ ガイド

1-4

C

CD

CD-RとCD-RW 4-11, 4-16

Windows Media Playerでの再生 4-3

Windows Media Playerのヘルプ

ファイルへのアクセス 4-4

オペティカル ドライブ ソフトウェ

ア 4-1

コピー 4-8

作成 4-8

サポート ソフトウェア CD 9-1

スタンバイとハイバネーションの

防止 4-2

ドライブの使用禁止 3-15

[Computer Setup]

[Advanced] (詳細設定) メニュー

8-5

DriveLockの設定 3-13

[File] (ファイル) メニュー 8-3

HP管理者パスワードの設定 3-16

MultiBoot Express画面の設定 6-7

ROMの情報の表示 9-2

[Security] (セキュリティ) メ

ニュー 8-4

[Tools] (ツール) メニュー 8-4

USB レガシー サポート 8-1

言語の変更 8-2

[システム情報]オプション 3-17

操作 8-1

手順 8-1

デバイスの有効/無効の設定 3-15, 6-4

デバイスをマルチブートに含める 6-4

デフォルトの復元 8-2

デフォルトのブート シーケンスの

設定 6-6

ノートブック コンピュータ情報 9-2

パスワードによる保護 3-16

マルチブートの設定 6-1

CPQFlashファイル 9-3

D

DriveLock

DriveLockによりプロテクトされた
ハード ドライブへのアクセス 3-12

設定の変更 3-13

装置の使用禁止 3-15

ハード ドライブからのDriveLockに

よるプロテクトの解除 3-13

パスワード、入力 3-13

パスワード、変更 3-13

DVD

DVD-RとDVD-RW 4-16

WinDVD Creatorでの作成 4-15

WinDVDでの再生 4-4

オペティカル ドライブ ソフトウェ

ア 4-1

再生中でのアドバンスト ポートリ

プリケータの接続と取り外し 4-6

スタンバイとハイバネーションの 防止	4-2	インストール	4-4
ドライブの使用禁止	3-15	エラーメッセージ	4-6
		地域設定	4-7
H			
HP管理者パスワード 機能	3-16	アドバンストポートリプリケータ	
N			
[Network Service Boot]	6-5	DVDの起動前の接続または取り外 し	4-6
P			
PCFriendly	4-5	インテリジェントマネジメント機能	5-1
PXE (Preboot eXecution Environment) プロトコル	6-5	ウィルス対策ソフトウェア	1-6
Q			
Quick Launch Buttons ソフトウェア 起動	7-2	応答しないシステム	2-6
設定	7-4		
R			
ROMPaq	9-3	か	
Roxio Easy CD and DVD Creator 6 Drag-to-Disc	4-8	画面の設定	1-4
使用する前に	4-10, 4-16	緊急停止手順	2-6
設定	4-14	言語	1-1
でのCDのフォーマット	4-11	言語、[Computer Setup]での変更	3-15
プロンプト、UDF	4-11		
RPL (Remote Program Load) プロトコ ル	6-5	さ	
S			
SoftPaq	9-3	サポートソフトウェアCD	9-1
[Software Setup]ユーティリティ	1-2	システムROM (Read Only Memory)	
U			
UDF Reader	4-11	現在のバージョンの確認	9-2
USB レガシー サポート	8-1	定義	9-1
W			
Windows Media Player CDの再生	4-3	システム情報の管理	3-16
ヘルプ ファイルへのアクセス	4-4	[システムの復元]ポイント	9-6
WinDVD		システムのロック	2-6
DVDの再生	4-4	使用許諾、ソフトウェア	1-1
DVDの作成	4-15	スタンバイ からの復帰	2-8
		起動	2-8
		赤外線またはドライブ メディアの 使用中の防止	4-1, 4-2
		スタンバイからの復帰	2-8
		スタンバイの起動	2-8
		セキュリティ機能	
		HP管理者パスワード	3-16
		装置の使用禁止	3-15
		ソフトウェア	
		[Software Setup]ユーティリティ	1-3
		UDF Reader	4-11
		ウィルス対策	1-6
		使用許諾	1-1
		必要な空き容量	1-3
		ソフトウェア使用許諾契約書	1-1

ソフトウェアの更新	9-1	は	
CPQFlashファイル	9-3	ハイバネーション	
RomPaq	9-3	からの復帰	2-7
SoftPaq	9-3	起動	2-7
インターネットからのシステム		赤外線またはドライブ メディアの	
ROMの更新	9-3	使用中の防止	4-1
システムROMの現在のバージョン		ハイバネーションからの復帰	2-7
の確認	9-2	ハイバネーションの起動	2-7
ソフトウェア パッケージの確認		バッテリ パック	
9-3		CDやDVDの書き込み失敗の原因	
		4-10, 4-16	
た		ブート シーケンス	
ダウンロード		新しい設定	6-6
システムROM	9-4	デフォルト	6-2
ソフトウェア	9-5	プレゼンテーション モード	
地域設定	1-3	Quick Launch Buttons	7-2
著作権に関する警告	4-2	使用	7-5
ディスプレイ		設定	7-4
設定	1-4	ポート リプリケータ (別売)	
ディスプレイの設定	1-4	USB レガシー サポートの有効化	8-6
データの保護	9-6		
デバイスの有効化	6-1, 6-4	識別情報	8-3
デバイスの有効/無効の設定	3-15	電源としての使用	2-1
デフォルトのブート シーケンス	6-2, 6-6	プレゼンテーション モードとの使	
		用	7-1
ドライブの指定		マルチブート	6-2
表示	4-2		
変更	6-5	ま	
		マルチブート	
な		[Computer Setup]でのデバイスの有	
ネットワーク		効化	6-4
起動時のPXEサーバまたはRPL		MultiBoot Express画面	6-7
サーバへの接続	6-5	MultiBoot Express設定	6-8
使用中でのウィルスからの保護		新しいシーケンス	6-6
1-6		結果	6-5
マルチブートのためのNICの有効		設定	6-5, 6-6
化	6-1	定義	6-1
ノートブック コンピュータ情報への		デフォルトのブート シーケンス	6-2
アクセス	9-2		
ノートブック コンピュータのオンま		無線 (802.11とBluetoothに関するユー	
たはオフ	2-6	ザ ガイド	1-4
ノートブック コンピュータの電源の			
切断	2-6	ら	
		ロックされたシステム	2-6